

microKONTROL

MIDI STUDIO CONTROLLER



取扱説明書

KORG

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください



この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます



- ・ ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- ・ ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショート恐れがあります。
- ・ 本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。



- ・ 次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
ACアダプターが破損したとき
異物が内部に入ったとき
製品に異常や故障が生じたとき
修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。



- ・ 本製品を分解したり改造したりしない。



- ・ 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。
- ・ ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものを乗せない。コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- ・ 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。

万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。

- ・ 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- ・ 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- ・ 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ・ ホコリの多い場所で使用や保管はしない。
-  ・ 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。
-  ・ 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- ・ 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- ・ 本製品に液体をこぼさない。
-  ・ 濡れた手で本製品を使用しない。



この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります



- ・ 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ・ ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。

- ・外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。
- ・長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- ・電池は幼児の手の届かないところへ保管する。



- ・長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。



- ・他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- ・スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
故障の原因になります。
- ・外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- ・不安定な場所に置かない。
本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- ・本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
本製品が損傷したり、お客様がけがをする原因となります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがありますので、大切なデータはコンピューターにセーブしておいてください。またデータの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約について

本製品のソフトウェアをインストールする前に、別紙の「ソフトウェア使用許諾契約」を必ずお読みください。インストールすると、この契約に同意したことになります。

- * MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- * Microsoft、Windowsは、米国 マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- * Apple、Macintoshは、米国アップルコンピュータ社の米国およびその他の国における登録商標です。
- * Mac OSは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- * 掲載されている会社名、製品名、規格名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

取扱説明書の表記

エンコーダーやキーなどの表記[] microKONTROLのパネル上のエンコーダーやキー等は、[]で括って表しています。

パラメーターの表記“ ”
パラメーターは、“ ”で括って表しています。

マーク , **note**

これらのマークは順番に、使用上の注意、アドバイス、に関する説明を表しています。

ディスプレイ表示

取扱説明書に記載されている各種のパラメーターの数値などは、表示の一例です。本体のディスプレイの表示と必ずしも一致しない場合があります。

目次

パッケージ内容	vi
はじめに	1
主な特長	1
各部の名称と機能	2
フロント・パネル	2
リア・パネル	5
ドライバのインストールと設定	6
Windows XPをお使いの場合	6
KORG USB-MIDIドライバのインストール	6
KORG USB-MIDIドライバのアンインストール	9
デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を 回避するには	10
Mac OS Xをお使いの場合	11
Mac OS X標準のMIDIドライバのポートについて	11
アプリケーション側の入力ポートの設定	11
接続と電源の入れ方	12
MIDI接続	12
電池の入れ方	12
USB接続	13

オペレーション編	14
モードの概要	14
1. Playモード	14
2. Settingモード	14
3. Messageモード	14
4. Sceneモード	14
クイック・スタート	15
1. 電源を入れる	15
2. シーンを選択する	15
3. コントローラーを設定する	15
4. シーンの保存	17
5. シーン・セットのコンピューターでの管理	18
Playモード	19
コントローラーの操作	19
1. エンコーダー、スライダー	19
2. トリガー・パッド	20
3. ジョイスティック	21
4. ペダル(PEDAL 端子)	22
5. 鍵盤	22
6. [VALUE]ダイヤル	23
Settingモード	24
シーン・パラメーターの設定	24
グローバル・パラメーターの設定	24

OCTAVE SHIFT/CURSORキー、[ENTER]キー、[EXIT]キーについて	24	[15] POLARITY (Polarity setting)	41
[1] ENCODER (Encoder assignment)	25	[16] SYSTEM (System setting)	41
NRPN、RPNのアサイン	26	Message モード	42
コントロール・チェンジのクイック・アサイン	27	[1] PANIC (Panic message)	43
[2] SLIDER (Slider assignment)	27	[2] SNAP (Snap message)	43
[3] PAD (PAD assignment)	28	[3] NOTE OFF (All Note Off message)	44
[4] PEDAL (Pedal assignment)	29	[4] GM ON (GM On message)	44
コントロール・チェンジのアサイン	30	[5] STOP (Stop message)	44
[5] JOYSTICK-X (Joystick - X assignment)	31	[6] START (Start message)	44
+ X方向と - X方向で1つのMIDIメッセージをアサインする	31	[7] CONTINUE (Continue message)	45
アフタータッチのアサイン	32	[8] TAP (Tap message)	45
ペロシティのアサイン	33	[9] CTRL (Control Change message)	45
コントロール・チェンジのアサイン	33	[10] BANK (Bank Select message)	46
+ X方向と - X方向で別々のMIDIメッセージをアサインする	34	[11] PROG (Program Change message)	47
[6] JOYSTICK-Y (Joystick - Y assignment)	35	[12] BEND (PitchBend Change message)	47
[7] STICK SW (Joystick switch assignment)	35	[13] RPN (RPN message)	48
[8] PORT (USB-MIDI Port setting)	36	[14] NRPN (NRPN message)	49
microKONTROLとドライバのポートについて	37	[15] EX (System Exclusive message)	50
MIDI INデバイス	37	[16] FREE (Free message)	51
MIDI OUTデバイス	37	Scene モード	52
microKONTROLのMIDI端子について	37	[1]...[12] Select Scene	52
USB接続されていないとき	37	[13] VALUE (Encoder/Slider Value)	52
USB接続されているとき	37	[14] DUMP	53
[9] KBD VELOCITY (Keyboard Velocity setting)	38	[15] PRELOAD	53
[10] PAD VELOCITY (PAD Velocity setting)	39	[16] WRITE	54
[11] LCD BACKLIT (LCD Backlit setting)	39		
[12] PAD ILLUMI (PAD Illumination setting)	40		
[13] TRANSPOSE (Transpose setting)	40		
[14] GLOB.CH (Global MIDI Channel setting)	41		

資料編	55
使用できるMIDIメッセージ	55
チャンネル・メッセージ	55
システム・リアルタイム・メッセージ	55
MIDIコントロール・チェンジ・メッセージ	55
チャンネル・モード・メッセージ	56
RPN MSB/LSB	56
ノートNo.	56
ライブラリアン・ソフトの使い方	57
各部の名称と機能	57
インストールについて	57
シーンのコンピューターへの保存	58
保存できるデータについて	58
シーンのmicroKONTROLへのロード	58
メニュー一覧	59
主なショートカット・キー	60
MIDIインプリメンテーション	61
システム・エクスクルーシブ・メッセージ	61
KORG専用モードについて	62
専用モードでの操作	62
故障とお思いになる前に	63
主な仕様	64
索引	65

パッケージ内容

microKONTROLには、以下のものが含まれています。
パッケージを開けたら、まずすべてのものがあるかどうかを確認してください。
不足している場合は、お買い上げになった販売店へご相談ください。

本体(microKONTROL)

ACアダプター

microKONTROLに電源を供給します。MIDI音源等をMIDI端子で接続するときACアダプターを使用します。(④p.12「接続と電源の入れ方」)

USBケーブル

microKONTROLとコンピューターをUSB接続するとき使用します。(④p.12「接続と電源の入れ方」)

CD-ROM

コンピューターにインストールするドライバ(Windows XPのみ)、ライブラリアン・ソフトを収録しています。

 CD-ROMをオーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。大音量により耳に傷害を被ったり、CDプレーヤーやスピーカーを破損する恐れがあります。

トリガー・パッド用ネーム・シート/シール

本体のトリガー・パッドに割り当てたMIDIメッセージやコントロールする内容にあったシールをネーム・シートに貼り付け、本体のトリガー・パッドの上に載せます。
16個のトリガー・パッドにアサインした内容をすぐに確認でき、便利です。

取扱説明書, MIDIインプリメンテーション・チャート/Name List

保証書/愛用者カード, ソフトウェア使用許諾契約

はじめに

主な特長

microKONTROLは、コンピューターベースのミュージック・プロダクション/パフォーマンスに必要な、すべてのコントローラーを搭載したコンパクトなMIDIコントローラーです。3オクターブ・キーボード、8エンコーダー、8スライダー、16トリガー・パッドを操作して、ソフト・シンセやDAW(デジタル・オーディオ・ワークステーション)だけでなく、外部MIDI音源など様々なミュージック・デバイスを自由自在にコントロールすることができます。

8エンコーダー、8スライダー

各8系統あるエンコーダーとスライダーには、NRPNとRPNを含むMIDIコントロール・チェンジがアサイン可能です。また、エンコーダーとスライダーには、パラメーターとバリューを表示するディスプレイを搭載し、バックライト色によって表示内容の識別が可能です。

16トリガー・パッド

MIDIコントロール・チェンジをアサインすることによって、トランスポート・コントロールをはじめとする様々なコントロール・スイッチとして使用できます。また、ノート・メッセージ・アサイン時には、パッドを叩く強さによってベロシティも送信することができ、強弱のついたノート・メッセージを送信できます。

スイッチ付きアサインブル・ジョイスティック

X方向にピッチベンド、Y方向にモジュレーション等のアサインのほか、各4方向とスイッチにそれぞれMIDIメッセージをアサインすることができます。

37鍵ベロシティ付きミニ鍵盤

ミニ鍵盤を採用することによって本体をコンパクトにまとめ、オクターブ・シフト、トランスポーズ機能によってすべてのノート範囲をカバーすることができます。また、8種類のベロシティ・カーブによって、弾き方に合わせた設定が可能です。

パラメーターのイージー・アサイン

ディスプレイによる豊富な情報と簡単な操作によって、各コントローラーにMIDIメッセージをアサインすることができます。

12ユーザー・メモリー

コンピューター上のソフト・シンセ、DAW等の操作にあわせて各コントローラーにアサインした設定を、シーンとして本体ユーザー・メモリーに12個まで保存することができます。保存したこれらのシーンは、トリガー・パッドによって瞬時に切り替えることができます。また本体には、代表的なシーケンサー・ソフトやソフト・シンセサイザーに対応した設定があらかじめロードされています。

ライブラリアン・ソフトウェア/テンプレート・シーン・データ付属

シーン・データをコンピューターで管理することができるライブラリアン・ソフトと、代表的なシーケンサー・ソフトやソフト・シンセサイザーのテンプレート・シーン・データを付属しています。本体とライブラリアン・ソフトのシームレスな連携により、テンプレート・シーンや自分で作成したオリジナル・シーンを、制作環境や使用目的に応じてフレキシブルに設定することができます。

バス電源対応 / 電池駆動

本体搭載のUSBはバス電源対応です。USBでコンピューターと接続したときは、ACアダプターからの電源供給は不要です。また、電池駆動も可能なので、様々な状況で使用することができます。

各部の名称と機能

フロント・パネル

トリガー・パッド

トリガー・パッドには、コントロール・チェンジ、またはノート・メッセージ (C-1 ~ G9) がアサイン可能です。

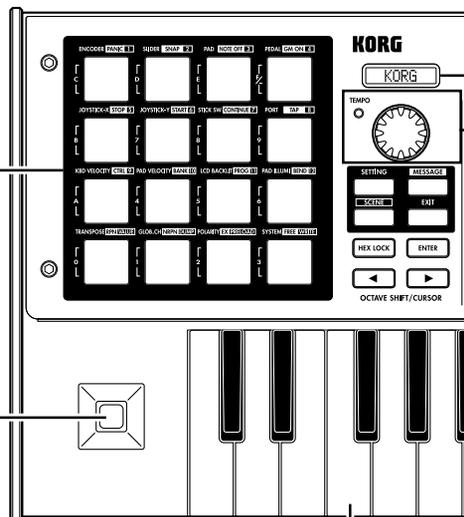
コントロール・チェンジ・アサイン時には、パッドを押したときに127、離れたときに0の値を送信するか、押したときに0と127の値を交互に送信します。

ノート・メッセージ・アサイン時には、パッドを叩いたときにノート・オン (ベロシティ値を含む) を、離れたときにノート・オフを送信するか、またはパッドを叩いたときにノート・オンとノート・オフを交互に送信します。その他、各モードでのページ選択、テンキー等、モードによってさまざまな機能が割り当てられています。(※p.4「トリガー・パッドの機能について」)

ジョイスティック

スイッチ付きのジョイスティックです。前後左右 (±Y、±X) 各方向とスイッチに、それぞれMIDIメッセージをアサインして、接続した機器やコンピューター上のアプリケーションをコントロールします。

- ・ ±X、±Yの各方向にはアフタータッチ、ベロシティ、ピッチベンド、マスター・バランス、コントロール・チェンジがアサイン可能です。
- ・ +X、-X、+Y、-Yの各方向にはアフタータッチ、ベロシティ、コントロール・チェンジがアサイン可能です。
- ・ スイッチにはコントロール・チェンジがアサイン可能です。スイッチを押したときにアサインしたコントロール・チェンジの127を、離れたときに0の値を送信するか、またはスイッチを押したときに0と127の値を交互に送信します。



メイン・ディスプレイ

各モードでシーン名、ページ、パラメーター等を表示します。

[VALUE]ダイヤル

Playモードでは、MIDIクロックのテンポを調整します。その他のモードでは、パラメーターを設定します。

TEMPO LED

TEMPO LEDは、[VALUE]ダイヤルで調整したMIDIクロックのテンポに対して、4分音符のタイミングで点滅します。

鍵盤

37鍵ベロシティ付きミニ鍵盤です。ノート・データをグローバルMIDIチャンネル(※p.41)で送信します。

[MESSAGE] キー

このキーを押したまま、各ページが割り当てられているトリガー・パッドを押すと、Message モードに入ります。

[SETTING] キー

このキーを押したまま、各ページが割り当てられているトリガー・パッドを押すと、Setting モードに入ります。

[SCENE] キー

このキーを押したまま、各ページが割り当てられているトリガー・パッドを押すと、Scene モードに入ります。

[HEX LOCK] キー

このキーを押して点灯させると、トリガー・パッドで数値を入力するときに 16 進数で入力できます。また、キーを点灯させているときは、メイン・ディスプレイやサブ・ディスプレイに表示される MIDI メッセージと、その値が 16 進数で表示されます。

OCTAVE SHIFT/CURSOR キー

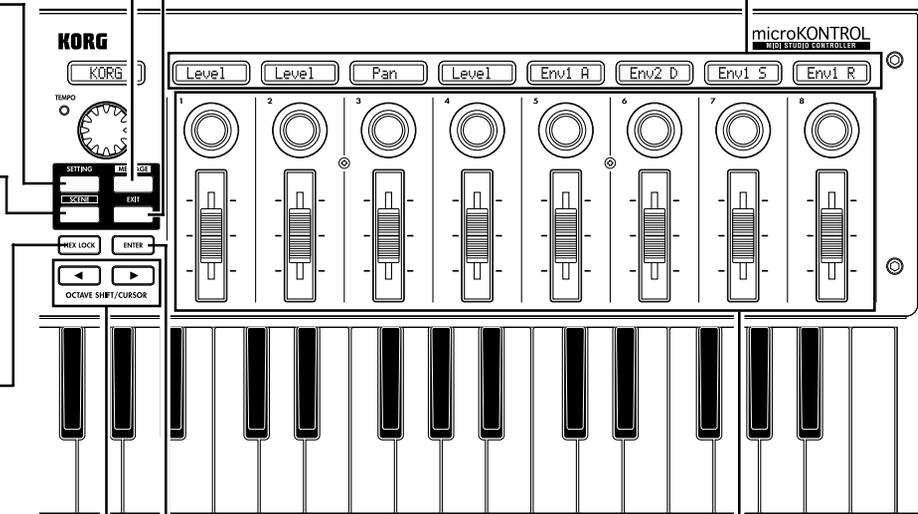
Play モードでは、オクターブ・シフト・キーとなり、鍵盤のオクターブを設定します。(ESP p.22)
その他のモードでのパラメーター等の設定時には、カーソル・キー(両方のキーが点灯)となります。

[EXIT] キー

Setting モード、Message モード、Scene モードから Play モードに戻るときや、設定等を途中でキャンセルしたいときに押します。

サブ・ディスプレイ

エンコーダーとスライダーにアサインされた名前や、操作時に送信する値を表示します。

**[ENTER] キー**

Setting モードでは、設定や値を確定するときに押します。Message モードでは、設定した MIDI メッセージを送信します。

エンコーダー、スライダー

MIDI メッセージをアサインして、接続した機器やコンピューター上のソフト・シンセ、DAW 等をコントロールします。
コントロール・チェンジ(RPN、NRPN を含む)がアサイン可能です。

トリガー・パッドの機能について

トリガー・パッドには、さまざまな機能が割り当てられています。

MIDIメッセージの送信

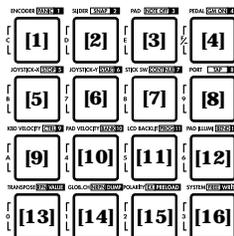
Playモードでは、パッドを押すたびに、SettingモードでアサインしたMIDIメッセージを送信します。またMessageモードでも、[MESSAGE]キーを押しながらパッドを押すことによって、あらかじめ割り当てられたMIDIメッセージが送信できます。

各モードへの移動

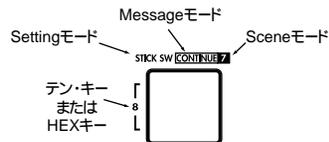
Playモードから各モードへ移動する際に、目的のモード・キーを押してパッドを押すことによって、そのモードに移動、またはMIDIメッセージを送信できます。

パッド・ナンバーについて

取扱説明書中に記載されているパッド・ナンバー(パッド[1]等)は、本体のパッドと図のように対応しています。



また、本体にある各パッドの表示は、モードごとに割り当てられているページや機能を示しています。



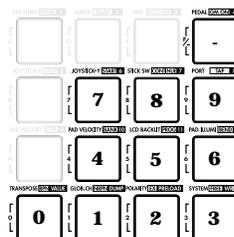
数値の入力

Setting、Message、Sceneの各モードでの設定時、MIDIコントロール・チェンジ・ナンバーやMIDIチャンネル等の数値を入力する際に、パッドを使用することができます。

パッドでの数値には、10進数での入力と16進数での入力の2通りの入力方法があります。

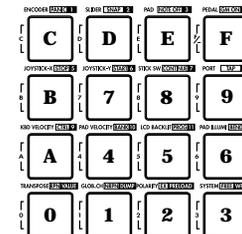
パッドでの10進数入力

10進数で入力するときは、[HEX LOCK]キーが点灯していない状態で、以下のように対応するパッドを押します。これら以外のパッドが押された場合は、値をクリアします。



パッドでの16進数入力

16進数で入力するときは、[HEX LOCK]キーを押してキーを点灯させ、以下に対応するパッドを押します。



リア・パネル

[コントラスト調整]ノブ

ディスプレイのコントラストを調整します。ディスプレイの表示は、目線の高さや角度によって見え方が異なります。必要に応じて調整してください。

PEDAL 端子

ダンパー・ペダルまたはペダル・スイッチを接続します。接続したペダルには、コントロール・チェンジがアサイン可能です。ペダルを踏んだときにアサインしたコントロール・チェンジの127、離れたときに0の値を送信するか、ペダルを踏んだときに0と127の値を交互に送信するかを選択できます。

電源スイッチ

本体の電源を入れます。接続方法によってスイッチを切り替えます。(※p.12「接続と電源の入れ方」)



USB 端子

USB ケーブルでコンピューターと接続し、MIDI メッセージを送受信します。

MIDI 端子

外部 MIDI 機器を接続し、MIDI メッセージを送受信します。

電源端子

付属の AC アダプターを接続します。AC アダプターは、MIDI 端子を使って接続した機器をコントロールする場合に使用します。USB ケーブルでコンピューターと接続した場合には、コンピューターから電源が供給されるので(バス電源方式)、AC アダプターは必要ありません。

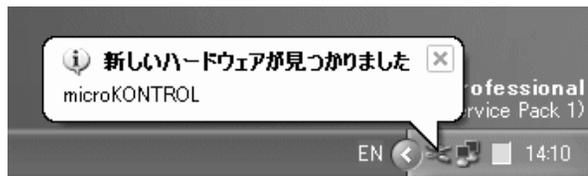
 コンピューターによっては、バス電源方式で電源が供給できない場合があります。そのときはセルフ・パワー(外部から電源を供給できるタイプ)のハブ、または AC アダプターを使用してください。

ドライバのインストールと設定

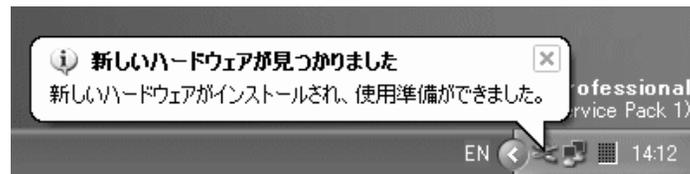
Windows XPをお使いの場合

KORG USB-MIDIドライバのインストール

- Windows XPへのドライバのインストールおよびアンインストールを行うためには Administratorの管理者権限が必要です。詳しくはシステム管理者に相談してください。
 - デジタル署名によるドライバのインストールの抑制を行わないようにしておいてください。(「p.10」デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を回避するには)
 - このドライバはWindows XP専用です。Windows95/98/Me/2000では使用できません。
- 1 microKONTROLとコンピューターをUSBケーブルで接続し、microKONTROLの電源を入れます。(「p.12」接続と電源の入れ方)」
WindowsがmicroKONTROLの接続を認識します。



そして、標準のドライバが自動的にインストールされます。



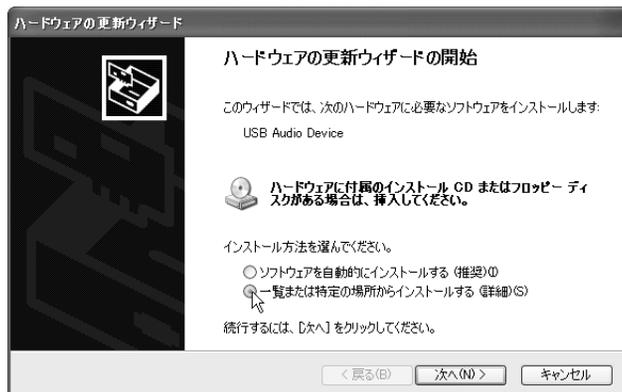
- 2 タスクバーの[スタート]ボタン、[コントロールパネル]の順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。
コントロールパネルの中の[サウンドとオーディオデバイス]を起動し、[ハードウェア]タブをクリックします。
デバイスのリストから[USB Audio Device]を選択し、リスト下の「デバイスのプロパティ」の項目の「場所」にmicroKONTROLが表示されていることを確認し、[プロパティ...]ボタンをクリックします。



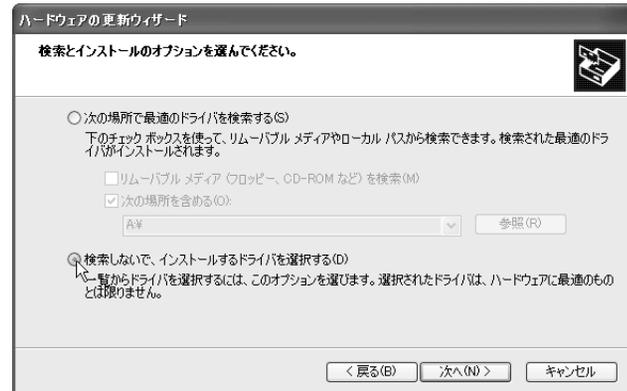
- 3 「USB Audio Deviceのプロパティ」ダイアログが表示されるので、[ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新...]ボタンをクリックします。



- 4 「ハードウェアの更新ウィザード」が表示されます。「インストール方法を選んでください。」では「一覧または特定の場所からインストールする」をクリックし、[次へ >]をクリックします。



- 5 「検索とインストールのオプションの選択」では、必ず「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をクリックし、[次へ >]をクリックします。

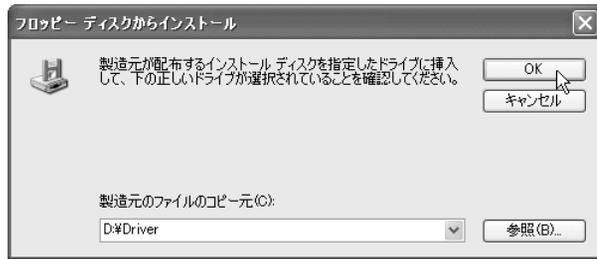


- 6 「このハードウェアのためにインストールするデバイスドライバを選んでください。」と表示されるので、[ディスク使用]ボタンをクリックします。



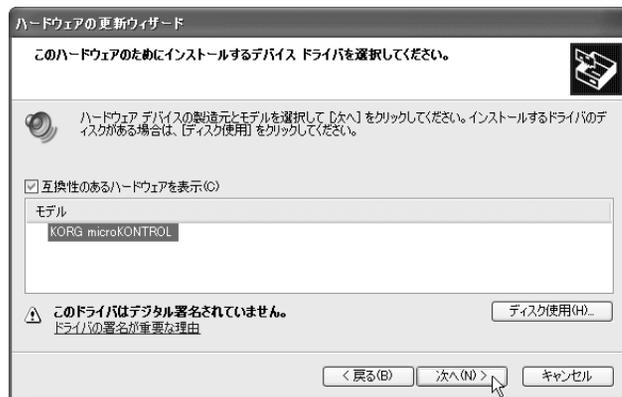
はじめに - ドライバのインストールと設定

- 7 フォルダ名を求めてくるので、microKONTROLに付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、KORG USB-MIDIドライバの入っているフォルダ“ D:¥Driver ”を入力し[OK]ボタンをクリックします。

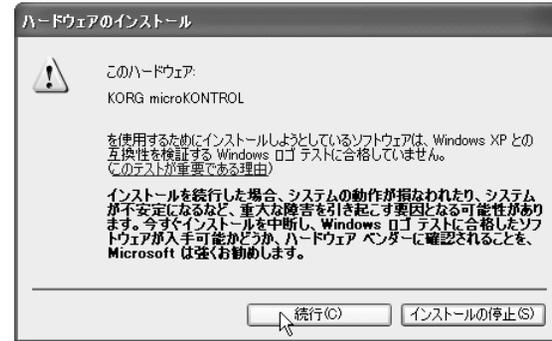


- ただし、これはCD-ROMドライブがDドライブの場合であり、お使いのコンピュータの環境に合わせて、CD-ROMドライブがEドライブの場合には上記フォルダ名の“ D: ”を“ E: ”のように変更して入力してください。

- 8 モデルにKORG microKONTROLが表示されていることを確認し[次へ >]をクリックするとドライバのインストールが始まります。



- 9 途中デジタル署名認証の警告ダイアログが表示される場合がありますが、[続行]をクリックして先に進みます。



- 10 インストール完了のダイアログが表示されるので[完了]をクリックします。Windowsの再起動を求められた場合には、[はい]を選んで再起動させてください。



KORG USB-MIDIドライバのアンインストール

- 1 タスクバーの[スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックして表示させます。
コントロールパネルの中の[サウンドとオーディオデバイス]を起動し、[ハードウェア]タブをクリックします。
デバイスのリストからmicroKONTROLが表示されていることを確認し、[プロパティ...]ボタンをクリックします。



- 2 「KORG microKONTROLのプロパティ」ダイアログが表示されるので、[ドライバ]タブをクリックし、[削除]ボタンをクリックします。



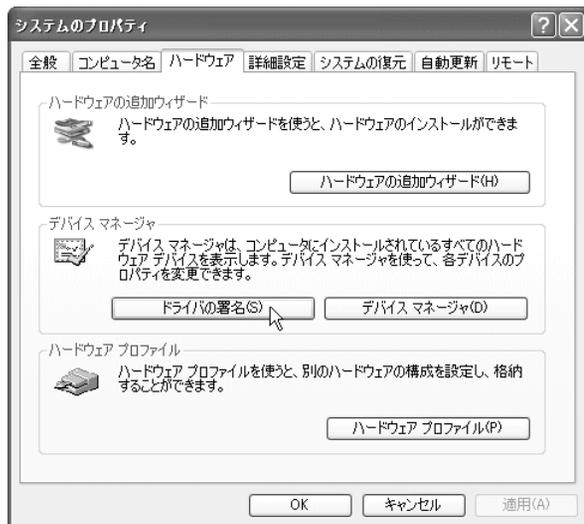
- 3 確認のダイアログが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



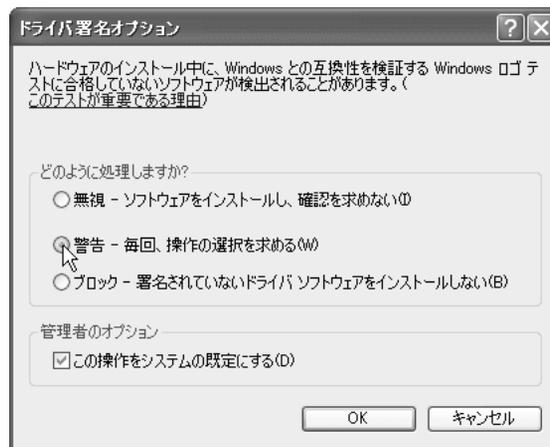
デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を回避するには

お使いのコンピューターが、デジタル署名の無いドライバをインストールできないように設定されている場合は、KORG USB-MIDIドライバをインストールすることができません。以下の方法でドライバをインストールできるように設定を変更してください。

- 1 タスクバーの[スタート]ボタン、[コントロールパネル]の順にクリックしてコントロールパネルを表示させます。
コントロールパネルの中の[システム]を起動し、[ハードウェア]タブをクリックします。そして、[ドライバの署名]ボタンをクリックします。



- 2 “どのように処理しますか？”で[ブロック]が選択されていると、ドライバをインストールすることができません。[無視]または[警告]を選び、[OK]をクリックします。必要があれば、ドライバをインストール後、この設定を元に戻してください。



Mac OS Xをお使いの場合

お使いのコンピューターがMac OS Xの場合は、Mac OS X標準のMIDIドライバを使用します。

 Mac OS X 10.2以降で有効です。

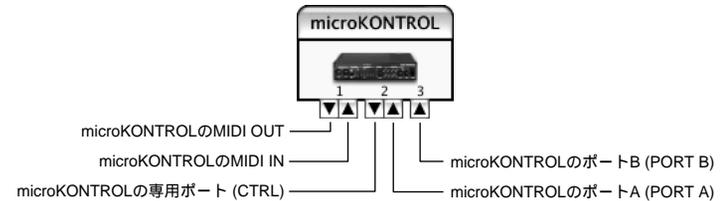
以下のようにmicroKONTROLをコンピューターに認識させます。

- 1 microKONTROLとコンピューターをUSBケーブルで接続します。
- 2 microKONTROLの電源を入れます。
- 3 アプリケーション・フォルダ ユーティリティ・フォルダの中の“Audio MIDI設定”をダブルクリックして起動します。
- 4 “MIDI装置”タブをクリックして、microKONTROLが表示されていることを確認します。



Mac OS X標準のMIDIドライバのポートについて

ドライバ側(コンピューター側)のポート1、ポート2、ポート3は、microKONTROLのMIDI IN/OUT、専用ポート/ポートA、ポートBに対応しています。専用ポートはデータダンプとKORG専用モードで使用します。(≡p.37「microKONTROLとドライバのポートについて」)microKONTROLのポートAから送信したメッセージは、コンピューター側ではポート2で受信します。



アプリケーション側の入力ポートの設定

microKONTROLでDAW等のアプリケーションをコントロールする場合、microKONTROLでポートAに設定したコントローラーのMIDIメッセージを受信するには、アプリケーション側の入力ポートをポート2(Port2)に設定します。

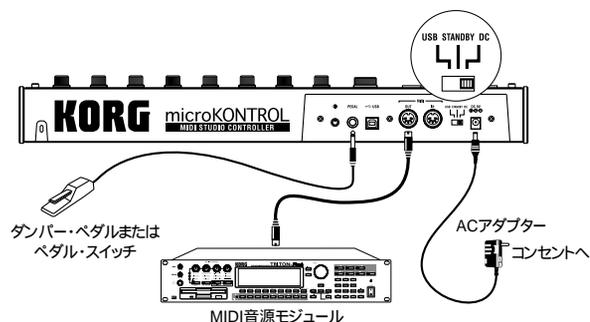
microKONTROLでの呼称名		アプリケーションでの表示名
入力	MIDI IN	(MIDI入力設定に表示される)Port 1
	ポートA(PORT A)	(MIDI入力設定に表示される)Port 2
	ポートB(PORT B)	(MIDI入力設定に表示される)Port 3
出力	MIDI OUT	(MIDI出力設定に表示される)Port 1
	専用ポート(CTRL)	(MIDI出力設定に表示される)Port 2

接続と電源の入れ方

MIDI接続

接続は必ずすべての機器の電源を切った状態で行ってください。不注意な操作を行うと、スピーカー・システム等を破壊したり、誤動作を起こす原因となりますので、十分に注意してください。

- 1 microKONTROLの電源端子にACアダプターのプラグを接続してからコンセントに差し込みます。
電池で駆動させる場合は、ACアダプターは必要ありません。
- 2 MIDIケーブルで外部機器と接続します。また、ペダルを接続する場合はPEDAL端子にペダルを接続します。



- 3 microKONTROLの電源スイッチをDCにして電源を入れます。
- 4 接続した機器の電源を入れます。
- 5 電源を切るときは、接続した機器の電源を切ってからmicroKONTROLの電源スイッチをSTANDBYにします。

設定の保存中(ライト中)には、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

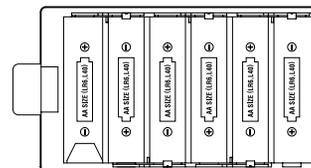
電池の入れ方

microKONTROLは、電池による駆動も可能です。

電池は付属されていません。別途お買い求めください。

ACアダプター接続時は、ACアダプターを優先します。

- 1 本体の電源が切れていることを確認した後、ケース裏側の電池カバーを開けます。



- 2 単3アルカリ乾電池(別売)6本を入れます。電池の向きを間違えないように注意してください。

- 3 電池カバーを閉めます。

電池使用時、電源スイッチはDC側にします。

バッテリー・エンプティ表示

電池容量が少なくなると、メイン・ディスプレイに " BattLow! "が表示されます。

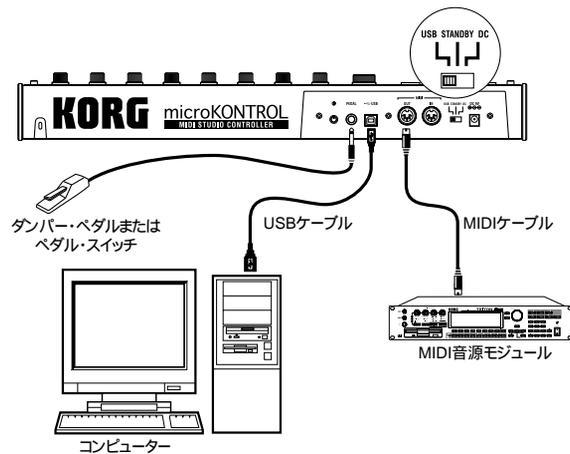


" BattLow! "が表示されてから一定の期間は使用可能ですが、アサイン設定等の保存はできません。保存したい場合には、ACアダプターを接続してライトを実行してください。その後はなるべく早く新しい電池と交換するか、そのままACアダプターでご使用になることをおすすめします。

- ⚠ バッテリーで駆動中にACアダプターを接続するときは、コンセントにACアダプターを接続してからmicroKONTROLの電源端子にプラグを接続してください。
- ⚠ 使えなくなった電池は、すぐにmicroKONTROLから取り出してください。そのままにしておくと、故障の原因(電池の液漏れ等)となります。また、長期間ご使用にならない場合も、電池を取り出しておいてください。

USB 接続

- 1 USBケーブルでコンピューターのUSB端子と接続します。USB接続の場合は、コンピューターの電源を入れたままで接続が可能です。ペダルを接続する場合は、PEDAL端子にペダルを接続します。



- note** microKONTROLはUSB - MIDIインターフェースとしても使用できます。MIDI OUT端子にMIDI音源等を接続すると、そのままコンピューターとMIDI音源とのやり取りも行えます。

- 2 microKONTROLの電源スイッチをUSBにして電源を入れます。USB接続の場合は、接続したコンピューターから電源を供給します(バス電源方式)。セルフ・パワーのUSBハブを使用している場合も同様です。
- ⚠ USB接続をした場合は、ACアダプターを使用する必要はありません。ただし、小電力のコンピューターや、バス電源のみのハブを使用して複数の機器を接続している場合等は、電源を供給できない場合があります。(このときは、メイン・ディスプレイに“LowPower”と表示されます)このような場合は、ACアダプターまたは電池を使用し、電源スイッチをDCにします。
- 3 電源を切るときは、電源スイッチをSTANDBYにします。
- ⚠ 設定の保存中(ライト中)には、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。
- ⚠ USB接続時には、MIDI OUT端子からはUSBからのデータを送信します。エンコーダー等のmicroKONTROLが送信するMIDIメッセージは、MIDI OUT端子からは出力されません(※p.37)

オペレーション編

モードの概要

microKONTROLにはPlay、Setting、Message、Sceneの4つのモードがあります。

1. Playモード

鍵盤やエンコーダー、スライダーなどのコントローラーを操作して、接続したMIDI音源やコンピューター上のソフト・シンセ、DAW等をコントロールするモードです。

各コントローラーの設定(シーン・パラメーター)は、Sceneモードであらかじめ保存してある設定(シーン)を選択するか、Settingモードで設定します。

2. Settingモード

Settingモードでは、シーン・パラメーター(各コントローラーの設定)とグローバル・パラメーター(全体に関わる設定)を設定します。

シーン・パラメーターには、各コントローラーへのMIDIメッセージのアサイン、アサインしたMIDIメッセージの送信MIDIチャンネル、USB-MIDIポートの設定等があります。接続したMIDI音源やコンピューター上のソフト・シンセ、DAW等にあわせてシーン・パラメーターを設定します。設定したシーン・パラメーターは、Sceneモードで本体メモリに保存します。保存された設定をシーンといいます。

グローバル・パラメーターには、鍵盤のペロシティ・カーブ、ディスプレイのバックライト、グローバルMIDIチャンネルの設定等があります。

グローバル・パラメーターは、[ENTER]キーを押してSettingモードからPlayモードに戻ったときに自動的に本体メモリに保存されます。

3. Messageモード

Messageモードでは、パッドに割り当てられた各種MIDIメッセージを送信します。

1回の操作でMIDIメッセージを送信したり、MIDIメッセージやMIDIチャンネルを設定してから送信するものがあります。

4. Sceneモード

Sceneモードでは、以下のことを行います。

- ・ユーザー・メモリに保存してあるシーンを選択。
- ・Settingモードで設定したシーン・パラメーターをユーザー・メモリにシーンとして保存。
- ・プリセット・シーンのユーザー・メモリへのライト。(工場出荷状態に戻す)
- ・エンコーダーとスライダーの現在の値を各サブ・ディスプレイに表示。
- ・本体内のシーンとグローバル・パラメーターのダンプ送受信。

クイック・スタート

1. 電源を入れる

microKONTROLとコンピュータを接続し、電源を入れます。(※p.12)



現在選ばれているシーン名がメイン・ディスプレイに表示されます。

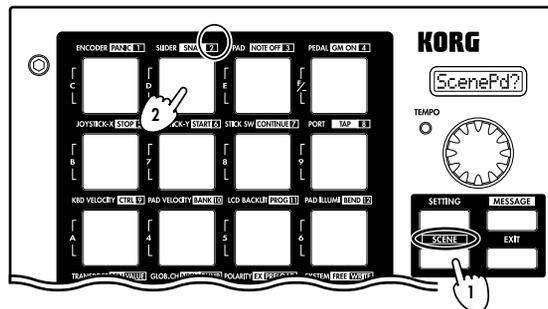
microKONTROLで操作したいソフトウェアを立ち上げてUSBとMIDIに関する設定を行ってください。USBとMIDIに関する設定等の詳細は、使用するソフトウェアやコンピュータの取扱説明書を参照してください。

2. シーンを選択する

microKONTROLは、DAWやソフト・シンセ等のソフトウェアを最適に操作できるように、エンコーダーやスライダー等のコントローラーにパラメーターをアサインできます。この設定をまとめてシーンと呼びます。

microKONTROLには、あらかじめ12個のシーンがプリセットとして内蔵されています。付属のCD-ROMに収録されているシーン・リストを参照して、コントロールするソフトウェアにあわせてシーンを選んでください。また、付属のCD-ROMには、あらかじめ内蔵されている12個のシーン以外に多数のシーンが収録されています。

ここでは、シーン2を選択してみましょう。



[SCENE]キーを押します。キーを押している間、メイン・ディスプレイに“ ScenePd? ”と表示され、シーンが登録されている1から12のパッドが点灯し、現在選択されているシーン1のパッドが点滅します。(手順1 (※p.52「 Sceneモード」))

シーン・ナンバーは、各パッドの上部右側に表示されている枠に囲まれた数字です。

[SCENE]キーを押したまま、2と表示されているパッドを押します。(手順2)

メイン・ディスプレイの表示がシーン2の名前に変わり、シーンが切り替わります。

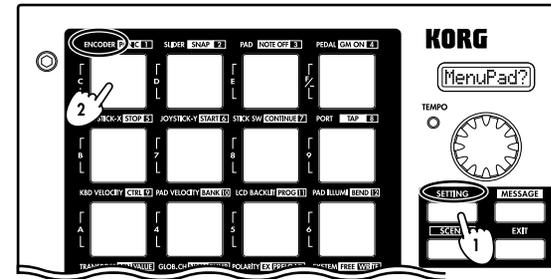
パッドと[SCENE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

コントローラーを操作してコンピュータ上のソフトウェアをコントロールしてみてください。(※p.19「 Playモード」)

3. コントローラーを設定する

エンコーダーなどのコントローラーで別のパラメーターを操作したい場合には、そのコントローラーのアサイン設定を変更します。

ここでは、エンコーダー1のアサインをコントロール・チェンジ・ナンバー10に、MIDIチャンネルを1に、エンコーダー2のアサインをコントロール・チェンジ・ナンバー15に、MIDIチャンネルを2に変更してみましょう。

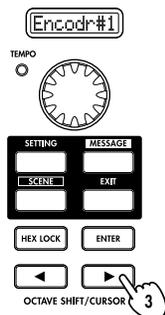


[SETTING]キーを押します。(手順1)キーを押している間、メイン・ディスプレイに“ MenuPad? ”と表示されます。(※p.24)

[SETTING]キーを押しながら、設定したいコントローラーが表示されているパッドを押します。(手順2)

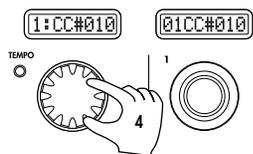
メイン・ディスプレイに“ Encodr#1 ”と表示されます。パッドとキーを離すと、エンコーダーのアサインページとなります。(※p.25)

オペレーション編 - クイック・スタート



OCTAVE SHIFT/CURSOR[◀]キーが赤、[▶]キーが緑に点灯します。緑は次のページがあることを示し、赤はそれより先にページがないことを示しています。

まず、[VALUE]ダイヤルで設定したいエンコーダーのナンバーを選択します。エンコーダー1のアサイン設定をするので、メイン・ディスプレイに“Encodr#1”と表示されていることを確認し、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、MIDIメッセージの選択ページへ移動します。(手順3)

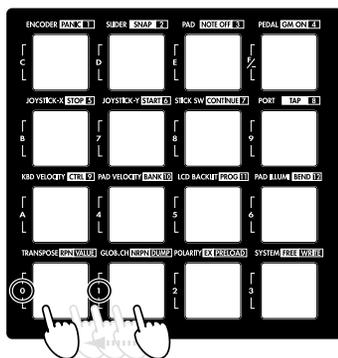


メイン・ディスプレイに、エンコーダー1に現在設定されているMIDIメッセージが表示されます。

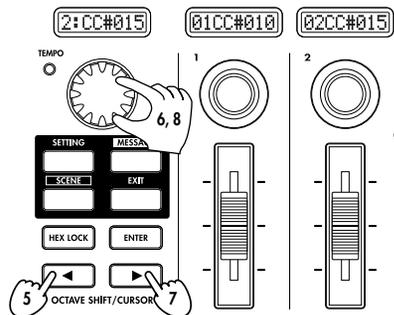
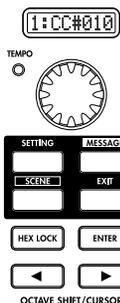
[VALUE]ダイヤルで設定したいMIDIメッセージを選択します。(手順4)

このとき、エンコーダー1の上にあるサブ・ディスプレイの表示も更新されます。

note コントロール・チェンジ・ナンバーは、パッドでも入力できます。

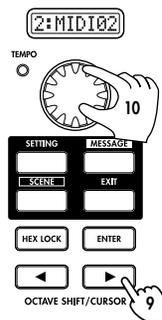


KORG



次にOCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]キーを押して、設定するエンコーダーの選択ページに戻り、エンコーダー・ナンバーを“Encodr#2”にして、同様にMIDIメッセージを設定します。

エンコーダー2の上にあるサブ・ディスプレイの表示も更新されることを確認してください。(手順5～8)

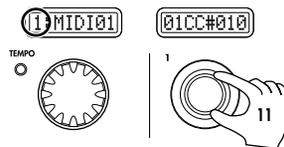


OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押します。(手順9)

MIDIチャンネルの設定ページが表示されます。

先ほどはエンコーダー2の設定をしたので、ここではエンコーダー2のMIDIチャンネルを設定することになります。

[VALUE]ダイヤルで設定したいチャンネルを選びます。(手順10)

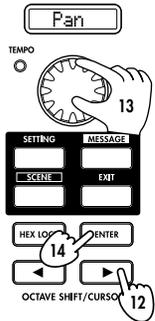


次にエンコーダー1のMIDIチャンネルを設定します。先ほどは設定したいエンコーダーの選択ページまで戻りましたが、設定したいエンコーダーを直接回しても設定することができます。(手順11)

エンコーダー1を回すと、メイン・ディスプレイの表示もエンコーダー1の内容に切り替わります。

MIDIメッセージの選択ページ等でも、この方法で簡単にアサイン設定を変えることが可能です。サブ・ディスプレイの表示を確認しながら同時に複数のエンコーダーの設定を変更することができます。

note この方法はスライダーでも有効です。



OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押します。(手順12) 名前を選択するページが表示されます。エンコーダーを設定する最後のページになるので、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーは赤く点灯し、[ENTER]キーが点滅します。

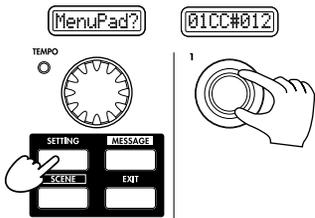
[VALUE]ダイヤルで名前を選択します。選択できる名前は、別紙の「Parameter Name(Encoder/Slider)」を参照してください。(手順13)また、エンコーダー2を直接操作して、エンコーダー2の名前を選択します。

設定が終了したら、[ENTER]キーを押して設定を更新します。(手順14)設定が更新されると、Playモードに戻ります。途中のページで[ENTER]キーを押すと、キーが押された時点での設定に更新されます。

note RPN、NRPNをアサインした場合には、ページの構成が異なります。(p.26) 他のコントローラーに関しても、同様にページごとに設定を行って、1つのシーンを作成してみてください。(他のコントローラーの設定に関してはp.24「Settingモード」)

クイック・アサイン

エンコーダーとスライダーで、コントロール・チェンジ・ナンバーのみを変更したい場合には、より簡単にアサインを設定できます。

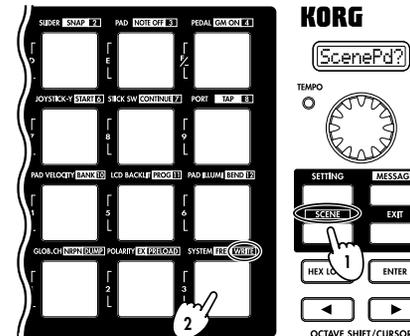


[SETTING]キーを押しながら、設定したいエンコーダーまたはスライダーを操作してください。サブ・ディスプレイの表示が変わりコントロール・チェンジナンバーが選択できます。[SETTING]キーを離すと、設定が更新されPlayモードに戻ります。

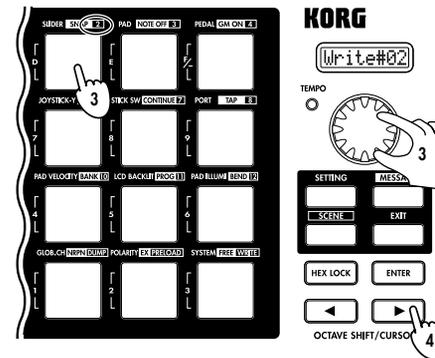
4. シーンの設定

変更したコントローラーの設定を保存していない状態では、別のシーンを選択したり、電源を切ってしまうと、変更した内容がクリアされてしまいます。アサイン設定したコントローラーのシーン・パラメーターを、再度設定しなくてはすむように新しいシーンとして保存しましょう。

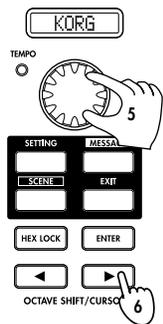
シーンの保存は、Sceneモードで行います。(p.54)



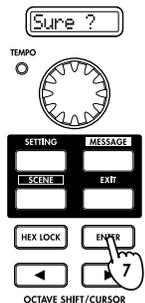
[SCENE]キーを押しながら、WRITEと表示されているパッドを押します。(手順1、2) WRITEページに入ります。ここでは、シーン2に保存してみましょう。



保存したいシーンのパッドを押すか、[VALUE]ダイヤルでシーン・ナンバーを選びます。(手順3) 選択し終わったら、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して次のページに進んでください。(手順4)



シーン名を選択するページが表示されます。
[VALUE]ダイヤルで名前を選びます。選択できる名前は、別紙の「Scene Name」を参照してください。(手順5)
選択し終わったら、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して次のページに進んでください。(手順6)

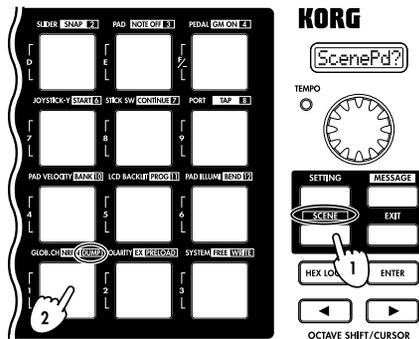


保存確認のページが表示されます。保存するときは、[ENTER]キーを押します。(手順7)
保存が完了すると、メイン・ディスプレイに「Complete」と表示されPlayモードに戻ります。

保存を途中でキャンセルする場合は、[EXIT]キーを押してください。

5. シーン・セットのコンピューターでの管理

付属のライブラリアン・ソフトを使って、microKONTROLに保存されている12個のシーンを1セットとして、コンピューターに保存または編集、管理することができます。



ライブラリアン・ソフトとのやりとりは、SceneモードのDUMPページで行います。(※p.53)
[SCENE]キーを押しながら(メイン・ディスプレイには「ScenePd?」と表示されます)、DUMPと表示されたパッドを押します。(手順1、2) DUMPページに入ります。

microKONTROLライブラリアン・ソフトを立ち上げて、「Receive」ボタンを押してmicroKONTROLに保存されているシーン・セットを取り込みます。
その後、「Save」ボタンを押し、シーン・セットに名前を付けてファイルとして保存します。
こうして作成したファイルを、様々な場面に応じてmicroKONTROLにロードして使用してください。(ライブラリアン・ソフトの使い方については※p.57「ライブラリアン・ソフトの使い方」)

Playモード

Playモードでは、搭載されている様々なコントローラーを使って、接続した機器やコンピュータ上のソフト・シンセ、DAWをコントロールします。

microKONTROLの電源を入れたときは、常にPlayモードに入ります。
メイン・ディスプレイには、現在のシーン・ナンバーが表示されます。通常は、前回最後に選択されたシーンで立ち上がります。



この状態から[VALUE]ダイヤル、パッド、ジョイスティック、ジョイスティック・スイッチ、ペダルのいずれかを操作すると、そのコントローラーにアサインされているMIDIメッセージと値が表示されます。(「コントローラーの操作」)

サブ・ディスプレイには、各エンコーダーに設定された名前が表示されます。エンコーダー、スライダのいずれかを操作すると、両方のコントローラーの値が表示されます。エンコーダーの表示からスライダを操作すると、一定時間たった後にスライダに設定された名前に表示が切り替わります。



note 通常、各サブ・ディスプレイにはエンコーダーまたはスライダのどちらか一方の名前が表示されます。両方を一度に表示することはできません。表示されていない方の名前を確認したいときは、[ENTER]キーを押します。

note シーン各コントローラーにアサインされている設定は付属のCD-ROMに収録されているシーン・リストを参照してください。

note メイン・ディスプレイとサブ・ディスプレイのバック・ライトの色は変更が可能です。(「p.39」Settingモード-[11] LCD Backlit setting)

コントローラーの操作

Playモードでは、7種類のコントローラーを操作できます。

1. エンコーダー、スライダ

操作するたびにアサインされたMIDIメッセージを送信します。

ディスプレイの表示

エンコーダー、スライダを操作すると、サブ・ディスプレイに現在の値が表示されます。電源を入れたときは、エンコーダーにアサインされているMIDIメッセージの種類、またはコントロール・チェンジがアサインされている場合に設定している名前(「p.26」)が表示されます。MIDIメッセージが何もアサインされていない場合は、「NoAssign」と表示されます。

コントロール・チェンジ・アサイン時

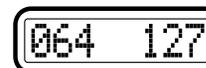


NRPN、RPNアサイン時



この状態からスライダまたはエンコーダーのいずれかを操作すると、両方のコントローラーの値が表示されます。操作していない方のコントローラーの値は、現在の位置での値が表示されます。MIDIメッセージをアサインしていない場合には、「---」と表示されます。

HEX LOCKキー Off(10進数表示)



エンコーダー スライダ

HEX LOCKキー On(16進数表示)



エンコーダー スライダ

オペレーション編 - Play モード

操作したコントローラーによってディスプレイのバック・ライトの色が変わります。初期値ではスライダーを操作したときは緑、エンコーダーを操作したときは赤になります。

操作をやめ一定時間が過ぎると、最後に操作されたコントローラーの内容が表示されます。

note サブ・ディスプレイのバック・ライトの色は変更が可能です。(※p.39「Settingモード - [11] LCD Backlit setting」)

エンコーダー、スライダーに関する設定

- ・エンコーダーへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(※p.25「Settingモード - [1] Encoder assignment」)
- ・スライダーへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(※p.27「Settingモード - [2] Slider assignment」)
- ・アサインしたMIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。(※p.36「Settingモード - [8] USB-MIDI Port setting」)

2. トリガー・パッド

パッドを押すたびに、アサインされたノート・データまたはコントロール・チェンジを送信します。

ノート・データをアサインしたパッドでは、ベロシティも送信します。(※p.39「Settingモード - [10] PAD Velocity setting」)

コントロール・チェンジをアサインしたパッドでは、0または127の値を送信します。

ディスプレイの表示

ノート・データ・アサイン時

パッドを押すと、送信したノート・ナンバーとベロシティ値がメイン・ディスプレイに表示されます。

HEX LOCKキー Off(10進数表示)



HEX LOCKキー On(16進数表示)



ノート・メッセージ・アサイン時は、送信時にパッドがワンショット(1回)で点灯します。

コントロール・チェンジ・アサイン時

パッドを押すと、送信したコントロール・チェンジの内容がメイン・ディスプレイに表示されます。

HEX LOCKキー Off(10進数表示)



HEX LOCKキー On(16進数表示)



コントロール・チェンジ・アサイン時はパッドが点灯しています。パッドの動作をモーメンタリー(Momentary)にしたときは、パッドを押して127の値を送信したときに消灯します(0を送信すると再び点灯)。パッドの動作をトグル(Toggle)にしたときは、パッドを押すたびに消灯、点灯を繰り返します。

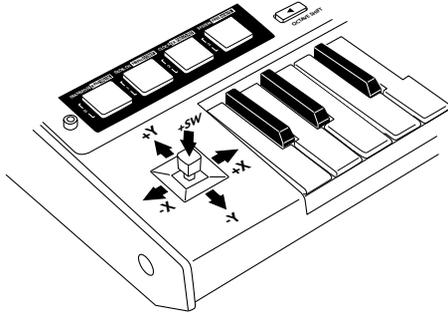
トリガー・パッドに関する設定

- ・トリガー・パッドへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(※p.28「Settingモード - [3] PAD assignment」)
- ・ノート・メッセージ・アサイン時のベロシティを設定します。(※p.39「Settingモード - [10] PAD Velocity setting」)
- ・MIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。(※p.36「Settingモード - [8] USB-MIDI Port setting」)
- ・MIDIメッセージ送信時にパッドの点灯について設定します。(※p.40「Settingモード - [12] PAD Illumination setting」)

3. ジョイスティック

ジョイスティックを操作するたびに、アサインされているMIDIメッセージを送信します。前後左右(±Y、±X)各方向とスイッチにMIDIメッセージをアサインできます。

前後左右の各方向では、操作に従ってアサインしたMIDIメッセージの値を0～127の範囲で送信します。ジョイスティック・スイッチでは、0または127の値を送信します。



! ジョイスティック・スイッチは、XまたはY方向へ傾けた状態では押すことができません。

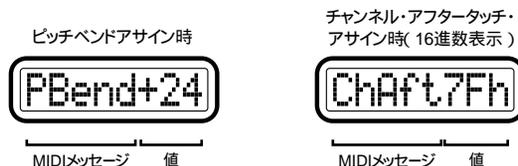
ディスプレイの表示

ジョイスティックを操作すると、メッセージの内容がメイン・ディスプレイに表示されます。

note アサインしているMIDIメッセージによっては、[HEX LOCK]キーをオン(キーが赤く点灯)することによって、MIDIメッセージの内容を16進数で表示させることができます。

X-Y方向への操作時

ピッチベンド・メッセージ、マスター・バランスをアサインしたときは、[HEX LOCK]キーにかかわらず±24の範囲で値が表示されます。



ジョイスティック・スイッチ操作時



MIDIメッセージが何もアサインされていない(NoAssign)場合は、ジョイスティックを操作してもメイン・ディスプレイの表示は変わりません(シーン・ナンバーのままです)。

ジョイスティックに関する設定

- ジョイスティックの左右方向へのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(31p.31 「Settingモード-[5] Joystick-X assignment」)
- ジョイスティックの前後方向へのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(35p.35 「Settingモード-[6] Joystick-Y assignment」)
- ジョイスティック・スイッチへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(35p.35 「Settingモード-[7] Joystick switch assignment」)
- MIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。(36p.36 「Settingモード-[8] USB-MIDI Port setting」)

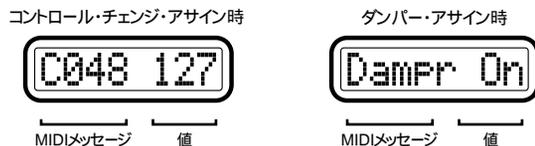
4. ペダル(PEDAL 端子)

PEDAL端子に接続したダンパー・ペダルやペダル・スイッチを操作するたびに、アサインされたMIDIメッセージを送信します。

ペダルを動作させたときに、127または0の値を送信します。

ディスプレイの表示

接続したペダルを操作すると、メッセージの内容がメイン・ディスプレイに表示されます。



MIDIメッセージが何もアサインされていない(NoAssign)場合は、ペダルを操作してもメイン・ディスプレイの表示は変わりません(シーン・ナンバーのまま)。

ペダルに関する設定

- ・ペダルへのMIDIメッセージのアサイン等を行います。(④p.29「 Settingモード - [4] PEDAL assignment 」)
- ・MIDIメッセージを送信するUSB-MIDIポートを設定します。(④p.36「 Settingモード - [8] USB-MIDI Port setting 」)
- ・接続したペダルの極性を設定します。(④p.41「 Settingモード - [15] Polarity setting 」)

5. 鍵盤

鍵盤を弾くたびにノート・データをグローバルMIDIチャンネル(④p.41)で送信します。

オクターブの調整

OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]または[▶]キーで、鍵盤の音域をオクターブ単位で調整できます。シフトした設定から±0に戻すときは、[◀]と[▶]キーを同時に押します。

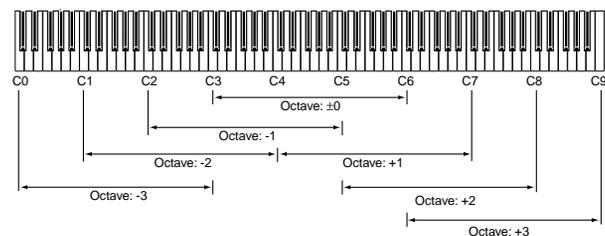
- 1 [▶]キーを押すたびに、音域が1オクターブずつ上にシフトします。現在の設定を[▶]キーの点灯する色で表示します。

消灯: ±0 オクターブ
 緑: +1 オクターブ
 オレンジ: +2 オクターブ
 赤: +3 オクターブ

- 2 [◀]キーを押すたびに、音域1オクターブずつ下にシフトします。現在の設定を[◀]キーの点灯する色で表示します。

消灯: ±0 オクターブ
 緑: -1 オクターブ
 オレンジ: -2 オクターブ
 赤: -3 オクターブ

オクターブ・シフト・キーによる発音範囲



鍵盤に関する設定

- ・半音単位で鍵盤のトランスポーズを変更します。(㊦p.40「Settingモード - [13] Transpose setting」)
- ・ペロシティ・カーブを設定します。(㊦p.38「Settingモード - [9] Keyboard Velocity setting」)
- ・ノート・データを送信するMIDIチャンネルを設定します。(㊦p.41「Settingモード - [14] Global MIDI Channel setting」)
- ・ノート・データを送信するUSB-MIDIポートを設定します。(㊦p.36「Settingモード - [8] USB-MIDI Port setting」)

6. [VALUE]ダイヤル

MIDIクロックのテンポを調整します。接続した機器やアプリケーションをmicroKONTROLのMIDIクロックに同期させるときに[VALUE]ダイヤルでコントロールします。調整範囲は、Clock Off、020 ~ 300です。Clock Offにすると、MIDIクロックを送信しません。MIDIクロックは、MessageモードでのMIDIメッセージを送信するポートから送信します。(㊦p.36「Settingモード - [8] USB-MIDI Port setting」)

note MIDIクロックのテンポは、電源投入時、常に120に設定されます。

note [SETTING]キーを押しながら[VALUE]ダイヤルを回すと、テンポを小数点第一位の単位で調整することができます。このときの調整範囲は20.0 ~ 300.0となります。

ディスプレイの表示

[VALUE]ダイヤルを回すと、MIDIクロックのテンポがメイン・ディスプレイに表示されます。また、[VALUE]ダイヤルの左上にあるTEMPO LEDは、設定したMIDIクロックのテンポに対して4分音符のタイミングで点滅します。



note Messageモードの[8]Tapで、パッド[8]を設定したいタイミングに合わせて押すことによって、好みのテンポに設定することができます。(㊦p.45「Messageモード - [8] Tap (Tap message)」)

Setting モード

コントローラーのシーン・パラメーター(各コントローラーのアサイン設定等)とグローバル・パラメーター(全体に関わる設定)を設定します。

Setting モードは、16 のページに分かれています。

[SETTING]キーを押しながら(メイン・ディスプレイに“MenuPad?”と表示)以下に示すパッドを押すことによって設定するパラメーターのページへ移動できます。

また、[EXIT]キーを押しながら[SETTING]キーを押すと、メイン・ディスプレイに“MenuPad?”と表示され、ページ選択の待機状態(モード・ロック)になります。

この状態からパッドを押すことによってページを選択できます。

シーン・パラメーターの設定

パッド[1]～[8]は、シーン・パラメーターを設定するページです。設定後、Sceneモードでの保存が必要です。

パッドNo.	ページ	設定内容
パッド[1]	Encoder assignment	エンコーダーのアサイン等(※p.25)
パッド[2]	Slider assignment	スライダーのアサイン等(※p.27)
パッド[3]	PAD assignment	パッドのアサイン等(※p.28)
パッド[4]	Pedal assignment	接続したペダルのアサイン等(※p.29)
パッド[5]	Joystick - X assignment	ジョイスティック左右方向のアサイン等(※p.31)
パッド[6]	Joystick - Y assignment	ジョイスティック前後方向のアサイン等(※p.35)
パッド[7]	Joystick switch assignment	ジョイスティック・スイッチのアサイン等(※p.35)
パッド[8]	USB-MIDI Port setting	USB-MIDIポートの設定(※p.36)

グローバル・パラメーターの設定

パッド[9]～[16]は、グローバル・パラメーターを設定するページです。ページを抜けたり、別のシーンを選択することによって自動的に保存されます。

 電池使用時、電池容量が少なくなったときはグローバル・パラメーターの保存はできません。

パッドNo.	ページ	設定内容
パッド[9]	Keyboard Velocity setting	鍵盤のベロシティ・カーブ(※p.38)
パッド[10]	PAD Velocity setting	パッドのベロシティ(※p.39)
パッド[11]	LCD Backlit setting	ディスプレイのバックライト(※p.39)
パッド[12]	PAD Illumination setting	パッド操作時の点灯(※p.40)
パッド[13]	Transpose setting	鍵盤のトランスポーズ(※p.40)
パッド[14]	Global MIDI Channel setting	グローバルMIDIチャンネル(※p.41)
パッド[15]	Polarity setting	接続したペダルの極性(※p.41)
パッド[16]	System setting	エンコーダーの初期値(※p.41)

OCTAVE SHIFT/CURSORキー、[ENTER]キー、[EXIT]キーについて

Settingモードでは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]キーがカーソル・キーとなり、パラメーターの移動に使用します。

[SETTING]キーとパッドを押して各ページに入ると、移動できる方向のキーが緑に点灯します。キーが消灯、または赤く点灯している方向へは移動できません。

また、[▶]キーを押しながら[◀]キーを押すと、ページの先頭に戻ります。

  : 右のパラメーターへ移動可能
OCTAVE SHIFT/CURSOR

  : 左のパラメーターへ移動可能
OCTAVE SHIFT/CURSOR

ページの最後になると、[ENTER]キーが点滅します。[ENTER]キーを押すと、設定が更新されPlayモードに戻ります。設定の途中で[ENTER]キーを押すと、その時点での設定が更新され、Playモードに戻ります。

設定を途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押します。

[1] ENCODER (Encoder assignment)

Encoder assignment では、エンコーダーへの MIDI メッセージのアサイン、送信する MIDI チャンネル等を設定します。

各エンコーダーにアサインできるメッセージは、コントロール・チェンジ(CC#)と RPN、NRPN です。

- 1 [SETTING] キーを押しながら、パッド[1]を押します。
[SETTING] キーとパッド[1]が点灯し、Encoder assignment に入ります。メイン・ディスプレイには「Encoder Select (アサイン設定するエンコーダーの選択)」が表示されます。



各サブ・ディスプレイには、それぞれのエンコーダーにアサインされている MIDI メッセージと送信 MIDI チャンネルが表示されます。

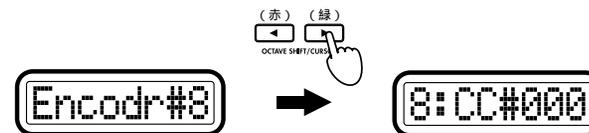


MIDIチャンネル コントロール・チェンジNo.

- note** メイン・ディスプレイでは、選択できるパラメーターや設定値を点滅して表示します。
 - note** エンコーダーまたはスライダーにアサインされている MIDI メッセージを確認する場合も Setting モードに入り、サブ・ディスプレイで確認します。
- 2 アサイン設定するエンコーダーを [VALUE] ダイアルで選びます。また、アサイン設定するエンコーダーを直接回しても選択できます。



- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶] キーを押して、「Message Select (MIDI メッセージの選択)」へ移動します。



- 4 アサインする MIDI メッセージを [VALUE] ダイアルまたはパッドで選びます。

NoAsgn (No Assign)

選択したエンコーダーには MIDI メッセージがアサインされません。NoAsgn を選択したときは、[ENTER] キー (点滅) を押して設定を更新します。☞ 手順 9

CC#000-127 (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。(☞ p.55 「使用できる MIDI メッセージ」)

NRPN, RPN

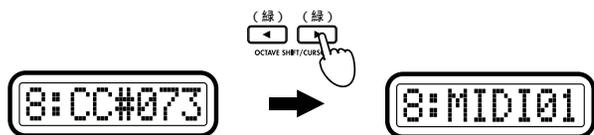
NRPN または RPN をアサインします。NRPN または RPN を選択したときは「MSB」と「LSB」を設定します。(☞ p.26 「NRPN、RPN のアサイン」)

note アサインを設定しているエンコーダーを直接操作して MIDI メッセージを選ぶこともできます。(ただし、選択できる範囲はコントロール・チェンジのみです) また、現在設定しているエンコーダー以外を直接操作しても、そのエンコーダーに対して設定できます。このときは操作したエンコーダーの設定に切り替わりします。

note [HEX LOCK] キーを押して 16 進数での入力も可能です。

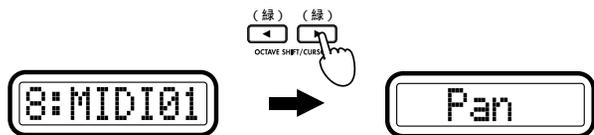
! パッドでは、コントロール・チェンジのみ選択可能です。0 ~ 127 (00 ~ 7Fh) 以外を入力した場合、最後に押した数値のみ残り、再入力となります。

- 5 OCTAVE SHIFT/CURS [▶] キーを押して、「MIDI Channel (MIDI チャンネルの設定)」へ移動します。



6 MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16 (ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

7 OCTAVE SHIFT/CURS[▶]キーを押して、“Name”(名前の設定)に移動します。



▲ コントロール・チェンジをアサインした場合のみ名前(“Name”)が設定できます。NRPNまたはRPNをアサインした場合は設定できません。

8 [VALUE]ダイヤルで名前を選びます。
ここで設定した名前は、Playモードでサブ・ディスプレイに表示されます。
選択できる名前は、別紙の「Parameter Name (Encoder/Slider)」を参照してください。

▲ 名前は、文字単位での設定はできません。

9 [ENTER]キーを押します。
各設定が更新され、Playモードに戻ります。

note 更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.54「Sceneモード - [16] WRITE」)

NRPN、RPNのアサイン

“Message Select”でNRPNまたはRPNを選んだ場合は、“MSB”、“LSB”、“MIDI Channel”の順に設定します。

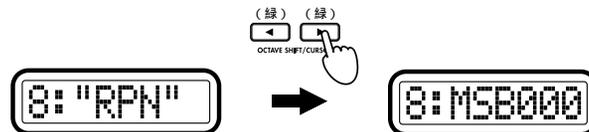
RPN(Registered Parameter No.)は、楽器メーカー等の枠を超えて共通の設定をするためのメッセージです。定義されているメッセージには、RPNファインチューン[Bn, 65, 00, 64, 01]、RPNコースチューン[Bn, 65, 00, 64, 02]、RPNピッチベンド・レンジ[Bn, 64, 00, 65, 00]があります。

NRPN(Non Registered Parameter No.)は、楽器メーカー / 機種等で自由に設定できるメッセージです。

1 “Message Select”でNRPNまたはRPNを選びます。
CChg#127から[VALUE]ダイヤルを右に回すと選択できます。



2 OCTAVE SHIFT/CURS[▶]キーを押して、“MSB”へ移動します。

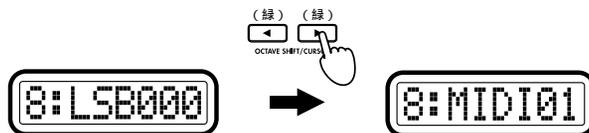


3 “MSB”の値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。選択範囲は0 ~ 127です。

4 OCTAVE SHIFT/CURS[▶]キーを押して、“LSB”へ移動します。



- 5 “ LSB ”の値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。選択範囲は0 ~ 127 です。
- 6 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 7 アサインしたMIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。(例p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
 - 8 [ENTER]キーを押します。
各設定が更新され、Playモードに戻ります。
- ▲** NRPNまたはRPNをアサインした場合は、名前(“ Name ”)を設定できません。(コントロール・チェンジをアサインしたときのみ名前が設定できます。)サブ・ディスプレイには“ RPN Enc1 ”(エンコーダー 1 にRPNをアサインした場合)と表示されます。

コントロール・チェンジのクイック・アサイン

Playモードで、エンコーダーにアサインされているコントロール・チェンジをすばやく変更することができます。コントロール・チェンジがアサインされているエンコーダーに対して有効です。

▲ NRPNまたはRPNがアサインされているエンコーダーに対しては無効です。

- 1 Playモードで[SETTING]キーを押しながら、アサインを変更するエンコーダーを回してコントロール・チェンジを選びます。
サブ・ディスプレイにエンコーダーのアサイン内容が表示されます。



MIDIチャンネル コントロール・チェンジNo.

- 2 [SETTING]キーを離す、または他のコントローラーが操作された時点で、変更したコントロール・チェンジに更新されます。

note MIDIチャンネルは、Encoder assignment ページの“ MIDI Channel ”で設定されているチャンネルになります。

▲ 更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。
(例p.54「 Scene モード - [16] WRITE 」)

[2] SLIDER (Slider assignment)

スライダーへのMIDIメッセージのアサイン、メッセージを送信するMIDIチャンネル等を設定します。

各スライダーにアサインできるメッセージは、コントロール・チェンジ(CC#)とNRPN、RPNです。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[2]を押します。
[SETTING]キーとパッド[2]が点灯し、Slider assignmentに入ります。メイン・ディスプレイには“ Slider Select ”(アサイン設定するスライダーを選択)が表示されます。各スライダーにアサインできる内容、アサイン設定の方法は、エンコーダーの場合と同じです。設定方法は、「 Encoder assignment 」(例p.25)を参照してください。また、スライダーでもコントロール・チェンジのクイック・アサインが可能です。クイック・アサインの方法もエンコーダーの場合と同じです。「 Encoder assignment 」の「 コントロール・チェンジのクイック・アサイン 」を参照してください。

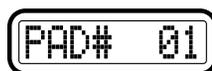
[3] PAD (PAD assignment)

PAD assignmentでは、パッドへのMIDIメッセージのアサインや送信するMIDIチャンネル等を設定します。

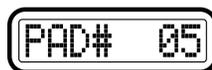
各パッドにアサインできるメッセージは、ノート・メッセージまたはコントロール・チェンジ (CC#)です。

コントロール・チェンジをアサインしたときは、そのメッセージの0または127の値を送信します。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[3]を押します。
[SETTING]キーとパッド[3]が点灯し、PAD assignmentに入ります。メイン・ディスプレイには「PAD Select (アサイン設定するパッドの選択)」が表示されます。



- 2 アサイン設定するパッドを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。パッドで選ぶときは、設定するパッドを直接押します。
アサイン設定するパッドが点滅します。



note これ以降のページでは、エンコーダーまたはスライダーで設定するパッドを選ぶことができます。エンコーダー1～8がパッド[1]～[8]に、スライダー1～8がパッド[9]～[16]に対応します。任意のページでエンコーダーまたはスライダーを操作すると、メイン・ディスプレイの表示が、対応するパッドの設定に切り替わります。例えば、次の「Message Select」のページでスライダー1を操作すると、メイン・ディスプレイの表示がパッド[9]の設定に切り替わり、パッド[9]が点滅します。アサインや値は、[VALUE]ダイヤルまたはパッドで設定します。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、「Message Select (MIDIメッセージの選択)」へ移動します。



- 4 MIDIメッセージのタイプを[VALUE]ダイヤルで選びます。
NoAssign
選択したパッドにはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選択したときは、[ENTER]キー(点滅)を押して設定を更新します。☞手順11

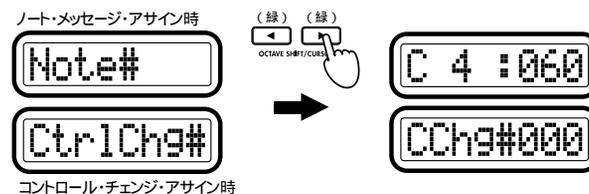
Note# (Note message)

ノート・メッセージをアサインします。

CtrlChg# (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。

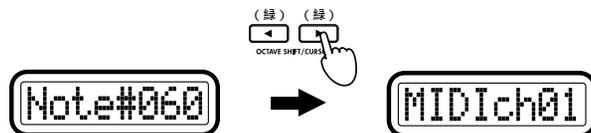
- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、「Note Select (ノート・ナンバーの選択)」または「Control Change Select (コントロール・チェンジ・ナンバーの選択)」へ移動します。



- 6 ノート・ナンバーまたはコントロール・チェンジ・ナンバーを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は0～127です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」、☞p.55「使用できるMIDIメッセージ」)

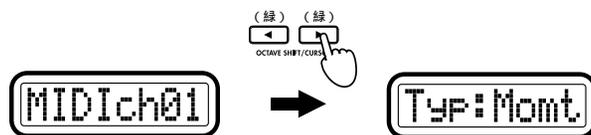
note ノート・メッセージ・アサイン時、ジョイスティック・スイッチを押すと、現在のパッドにアサインしたノート・メッセージを送信します。接続したアプリケーション等でアサインしたノート・メッセージによる動作を確認できます。

7 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、「MIDI Channel」(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



8 送信MIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。

9 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、「PAD Type」(パッドの動作を選択)へ移動します。



10 パッドの動作を[VALUE]ダイヤルで設定します。

Momt (Momentary)

パッドにコントロール・チェンジをアサインしたときは、パッドを押したときにアサインしたコントロール・チェンジの127を、戻したときに0の値を送信します。パッドにノート・メッセージをアサインしたときは、パッドを押したときにノート・オンを、戻したときにノート・オフを送信します。

Tgle (Toggle)

パッドにコントロール・チェンジをアサインしたときは、パッドを押すたびにアサインしたMIDIメッセージの127と0の値を交互に送信します。

パッドにノート・メッセージをアサインしたときは、パッドを押すたびにノート・オンとノート・オフを交互に送信します。

11 [ENTER]キーを押します。

各設定が更新され、Playモードに戻ります。

Playモードでは、コントロール・チェンジがアサインされているパッドは点灯し、ノート・メッセージがアサインされている、またはNoAssignが選択されているパッドは消灯します。

更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。
(※p.54「Sceneモード - [16] WRITE」)

[4] PEDAL (Pedal assignment)

Pedal assignmentでは、リアパネルのPEDAL端子へ接続したペダルへのMIDIメッセージのアサインや送信MIDIチャンネル等を設定します。

ペダルにアサインできるメッセージは、ダンパー、ソステヌート、ソフト・ペダル、ポルタメント、コントロール・チェンジ(CC#)です。

1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[4]を押します。

[SETTING]キーとパッド[4]が点灯し、Pedal assignmentに入ります。メインディスプレイには「Message Select」(MIDIメッセージの選択)が表示されます。



2 アサインするMIDIメッセージを[VALUE]ダイヤルで選びます。

NoAssign

ペダルにはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選んだ場合は、[ENTER]キー(点滅)を押して、設定を更新します。 (※手順5)

Damper

ダンパー(CC#64)をアサインします。

スイッチを押したときに、127、離れたときに0の値を送信します。
Playモードではペダル操作時、メイン・ディスプレイに“ Dampr -- ”と表示されます。

Sostenut (Sostenuto)

ソステヌート(CC#66)をアサインします。
スイッチを押したときに、127、離れたときに0の値を送信します。
Playモードではペダル操作時、メイン・ディスプレイに“ Sostn-- ”と表示されます。

Soft (Soft Pedal)

ソフト・ペダル(CC#67)をアサインします。
スイッチを押したときに、127、離れたときに0の値を送信します。
Playモードではペダル操作時、メイン・ディスプレイに“ Soft-- ”と表示されます。

Portmnt (Portamento)

ポルタメント(CC#65)をアサインします。
スイッチを押すたびに、127と0の値を交互に送信します。
Playモードではペダル操作時、メイン・ディスプレイに“ Porta-- ”と表示されます。

CtrlChg# (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg# を選んだ場合は、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ Control Change Select ”へ移動します。
☞「コントロール・チェンジのアサイン」

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 4 MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 5 [ENTER]キーを押します。
各設定が更新され、Playモードに戻ります。

⚠ 更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。
(☞p.54「 Sceneモード - [16] WRITE 」)

コントロール・チェンジのアサイン

“ Message Select ”でCtrlChg#を選んだときは、“ Control Change Select ”、“ MIDI Channel ”、“ SW Type ”の順に設定します。

- 1 “ Message Select ”でCtrlChg#を選び、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ Control Change Select ”(コントロール・チェンジ・ナンバーの選択)へ移動します。

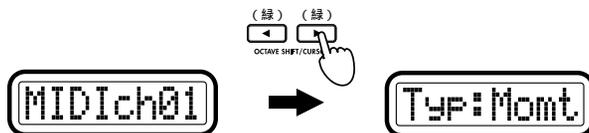


- 2 コントロール・チェンジ・ナンバーを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。
選択範囲は0 ~ 127です。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 4 MIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1～16(ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、「Pedal Type」(ペダル動作の設定)に移動します。



- 6 ペダルの動作を[VALUE]ダイヤルで設定します。

Momt (Momentary)

ペダルを踏んだときに、アサインしたMIDIメッセージの127を、戻したときに0の値を送信します。

Tglt (Toggle)

ペダルを踏むたびに、アサインしたMIDIメッセージの127と0の値を交互に送信します。

- 7 [ENTER]キーを押します。
各設定が更新され、Playモードに戻ります。

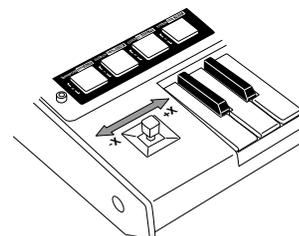
- 更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.54「Sceneモード - [16] WRITE」)

[5] JOYSTICK-X (Joystick - X assignment)

Joystick - X assignmentでは、ジョイスティックの左右(±X)方向へのMIDIメッセージのアサインや送信するMIDIチャンネル等を設定します。左右(±X)方向個別にMIDIメッセージのアサインが可能です。

+ X方向と - X方向で1つのMIDIメッセージをアサインする

ジョイスティックの±X方向全体にMIDIメッセージをアサインします。アサインできるメッセージは、ピッチ・ベンド、マスター・バランス、アフタータッチ、ペロシティ、コントロールチェンジ(CC#)です。



- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[5]を押します。
[SETTING]キーとパッド[5]が点灯し、Joystick - X assignmentに入ります。メイン・ディスプレイには「Assignment Select」(アサイン方法の選択)が表示されます。
「Assignment Select」では、ジョイスティック - X / + X方向全体の操作範囲に1つのMIDIメッセージをアサインするか、- X / + X方向でそれぞれ個別にMIDIメッセージをアサインするかを設定します。



- 2 左右方向へのアサイン方法を[VALUE]ダイヤルで選びます。
ここでは、+ - Paramを選びます。
- + - Param**
左右全体の操作範囲に1つのMIDIメッセージをアサインします。
- + Prm - Prm**
左側、右側でそれぞれ個別にMIDIメッセージをアサインします。(※p.34「+ X方向と - X方向で別々のMIDIメッセージをアサインする」)

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、「Message Select (MIDIメッセージの選択)へ移動します。



- 4 アサインする MIDIメッセージを [VALUE]ダイアルで選びます。

NoAssign

ジョイスティックの - X / + X 方向には MIDIメッセージがアサインされません。NoAssign を選択したときは、[ENTER]キーを押して設定を更新します。☞手順 7

PitchBnd (PitchBend)

ピッチベンドをアサインします。PitchBnd を選択したときは、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、「MIDI Channel (MIDIチャンネルの設定)へ移動します。☞手順 5

Playモードではジョイスティック操作時、メイン・ディスプレイに“PBend---”と表示されます。

MastrBal (Master Balance)

マスター・バランスをアサインします。マスター・バランス[F0, 7F, 7F, 04, 02, vv, mm, F7](デバイスIDは7Fh固定)を送信します。MastrBal を選択したときは、[ENTER]キーを押して設定を更新します。☞手順 7

Playモードではジョイスティック操作時、メイン・ディスプレイに“MstBl---”と表示されます。

A.Touch (AfterTouch)

鍵盤のアフタータッチをアサインします。A.Touch を選択したときは、アフタータッチの種類を選択します。☞「アフタータッチのアサイン」

Velocity

鍵盤またはパッドのペロシティをアサインします。Velocity を選択したときは、ペロシティ・タイプを選択します。☞p.33「ペロシティのアサイン」

CtrlChg# (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg# を選択したときは、コントロー

ル・チェンジ・ナンバーを選択します。☞p.33「コントロール・チェンジのアサイン」

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、「MIDI Channel (MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 6 MIDIメッセージを送信する MIDIチャンネルを [VALUE]ダイアルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。(☞p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)

- 7 [ENTER]キーを押します。
設定が更新され、Playモードに戻ります。

- ⚠ 更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(☞p.54「Sceneモード - [16] WRITE」)

アフタータッチのアサイン

“Message Select”でA.Touchを選んだときは、“Pressure Type”でアフタータッチ・タイプを選択し、“MIDI Channel (MIDIチャンネルの設定)へ進みます。

- 1 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して“Pressure Type (アフタータッチ・タイプの選択)へ移動します。



- 2 アフタータッチのタイプを[VALUE]ダイヤルで選びます。

Ch (Channel AfterTouch)

チャンネル・アフタータッチ。押された鍵盤すべてに対してアフタータッチが有効になります。

Playモードではジョイスティック操作時、メイン・ディスプレイに“ ChAft--- ”と表示されます。

Last (Polyphonic key pressure)

ポリフォニック・キー・プレッシャー。複数押された鍵盤のうち、最後に押された鍵盤に対してアフタータッチが有効になります。

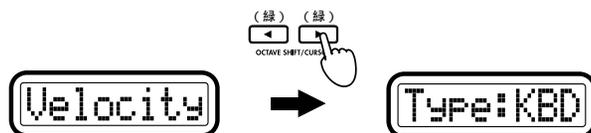
Playモードではジョイスティック操作時、メイン・ディスプレイに“ PyAft--- ”と表示されます。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。

ベロシティのアサイン

“ Message Select ”でVelocityを選んだときは、“ Velocity Type ”でベロシティ・タイプを選択し、設定を更新します。

- 1 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して“ Velocity Type ”(ベロシティ・タイプの選択)へ移動します。



- 2 ベロシティ・タイプを[VALUE]ダイヤルで選びます。
 ここでの設定は、グローバル・パラメーターの設定(≡「 Keyboard Velocity setting 」、「 Pad Velocity setting 」)よりも優先されます。
 Playモードでのジョイスティックの操作によってベロシティ値を送信します。ベロシティ値が0の場合には、“ KbdOnVel ”または“ PadOnVel ”と表示され、グローバル・パラメーターでの設定でベロシティ値を送信します。

KBD (Keyboard)

鍵盤のベロシティをアサインします。このときジョイスティックでコントロールするベロシティの送信MIDIチャンネルは、グローバルMIDIチャンネルとなります。

Playモードではジョイスティック操作時、メイン・ディスプレイに“ KyVel--- ”と表示されます。

PAD (Pad)

パッドのベロシティをアサインします。このとき、ジョイスティックでコントロールするベロシティの送信MIDIチャンネルは、パッドで設定しているMIDIチャンネルとなります。

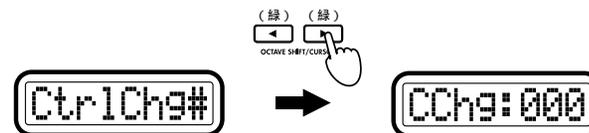
Playモードではジョイスティック操作時、メイン・ディスプレイに“ PdVel--- ”と表示されます。

- 3 [ENTER]キーを押します。
 設定が更新され、Playモードに戻ります。

コントロール・チェンジのアサイン

“ Message Select ”でCtrlChg#を選んだときは、“ Control Change Select ”でコントロール・チェンジを選択し、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ進みます。

- 1 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して“ Control Change Select ”(コントロール・チェンジ・ナンバーの選択)へ移動します。



- 2 コントロール・チェンジ・ナンバーを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。
 選択範囲は、0 ~ 127 です。
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。

+ X方向と - X方向で別々のMIDIメッセージをアサインする

ジョイスティックの - X / + X 方向に個別にMIDIメッセージをアサインします。アサインできるメッセージは、アフタータッチ、ベロシティ、コントロール・チェンジ(CC#)です。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[5]を押して Joystick - X assignment に入り、“ Assignment Select ”で + Prm - Prm を選びます。



- 2 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ +X / -X Select ”(アサイン設定する方向の選択)へ移動します。



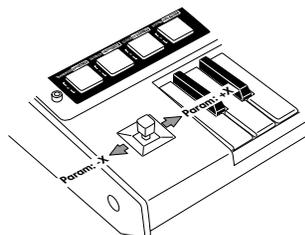
- 3 + X 方向、- X 方向のどちらをアサイン設定するかを [VALUE] ダイヤルで選びます。

Param: -X

- X 方向を設定。

Param: +X

+ X 方向を設定。



- 4 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ Message Select ”(MIDIメッセージの選択)へ移動します。



- 5 アサインするMIDIメッセージを [VALUE] ダイヤルで選びます。

NoAssign

設定している方向にはMIDIメッセージがアサインされません。NoAssignを選択したときは、[ENTER]キーを押して設定を更新します。☞手順8

A.Touch (AfterTouch)

鍵盤のアフタータッチをアサインします。A.Touchを選択したときは、アフタータッチの種類を選択します。☞p.32「アフタータッチのアサイン」

Velocity

鍵盤またはパッドのベロシティをアサインします。Velocityを選択したときは、ベロシティの種類を選択します。☞p.33「ベロシティのアサイン」

CtrlChg# (Control Change)

コントロール・チェンジをアサインします。CtrlChg#を選択したときは、コントロール・チェンジ・ナンバーを選択します。☞p.33「コントロール・チェンジのアサイン」

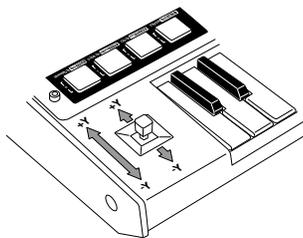
- 6 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 7 アサインしたMIDIメッセージを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 8 OCTAVE SHIFT/CURSOR[◀]キーを押して“ + X / - X Select ”へ戻り、もう一方の方向も同様に設定します。(※手順3 ~ 6)
- 9 両方向に対して設定し終わったら、[ENTER]キーを押します。設定が更新され、Playモードに戻ります。
- 🔍 更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。(※p.54「Sceneモード - [16] WRITE」)

[6] JOYSTICK-Y (Joystick - Y assignment)

Joystick - Y assignmentでは、ジョイスティックの前後(± Y)方向へのMIDIメッセージのアサインや送信するMIDIチャンネル等を設定します。前後(± Y)方向個別にMIDIメッセージのアサインが可能です。ジョイスティックにアサインできるメッセージは、ピッチ・ベンド、マスター・バランス、アフタータッチ、ペロシティ、コントロール・チェンジ(CC#)です。



- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[6]を押します。
[SETTING]キーとパッド[6]が点灯し、Joystick - Y assignmentに入ります。メイン・ディスプレイには“ Assignment Select ”(アサイン方法の選択)が表示されます。

アサインできる内容、アサイン設定の方法は、ジョイスティック左右(± X)方向の場合と同じです。設定方法は、「Joystick - X assignment」(※p.31)を参照してください。

[7] STICK SW (Joystick switch assignment)

Joystick switch assignmentでは、ジョイスティック・スイッチへのMIDIメッセージのアサイン、スイッチの動作等を設定します。ジョイスティック・スイッチにアサインできるメッセージは、ダンパー、ソステヌート、ソフト・ペダル、ポルタメント、コントロール・チェンジ(CC#)です。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[7]を押します。
[SETTING]キーとパッド[7]が点灯し、Joystick switch assignmentに入ります。メイン・ディスプレイには“ Message Select ”(MIDIメッセージの選択)が表示されます。
ジョイスティック・スイッチにアサインできる内容、アサイン設定の方法は、ペダルの場合と同じです。設定方法は、「Pedal assignment」(※p.29)を参照してください。

[8] PORT (USB-MIDI Port setting)

USB-MIDI Port settingでは、USB接続時の各コントローラーのUSB-MIDI送信ポートを設定します。コントローラー単位ごとに送信ポートを設定できます。

🔊 MIDI端子で接続している場合は、ここでのポートの設定は関係ありません。すべてのMIDIメッセージをMIDI OUT端子に送信します。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[8]を押します。
[SETTING]キーとパッド[8]が点灯し、USB-MIDI Port setting に入ります。メインディスプレイには「Controller Select」(設定するコントローラーの選択)が表示されます。



- 2 設定するコントローラーを[VALUE]ダイヤルで選択します。

Encoder

エンコーダーの送信ポートを設定します。

Slider

スライダーの送信ポートを設定します。

PAD 1-8

パッド[1]～[8]の送信ポートを設定します。

PAD 9-16

パッド[9]～[16]の送信ポートを設定します。

Pedal

接続したペダルの送信ポートを設定します。

JyStick-X (Joystick-X)

ジョイスティックX方向の送信ポートを設定します。

JyStick-Y (Joystick-Y)

ジョイスティックY方向の送信ポートを設定します。

Stick SW

ジョイスティック・スイッチの送信ポートを設定します。

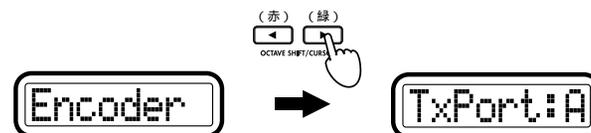
Keyboard

鍵盤の送信ポートを設定します。

Message

Messageモードで送信するMIDIメッセージとMIDIクロックの送信ポートを設定します。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、「TxPort」(ポートの設定)へ移動します。



- 4 送信するポートを[VALUE]ダイヤルで選択します。

A (USB Port A)

コントローラーにアサインしたMIDIメッセージをポートAに送信します。

B (USB Port B)

コントローラーにアサインしたMIDIメッセージをポートBに送信します。

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]キーを押して「Controller Select」に戻り、他のコントローラーの送信ポートを設定します。☞手順2～4

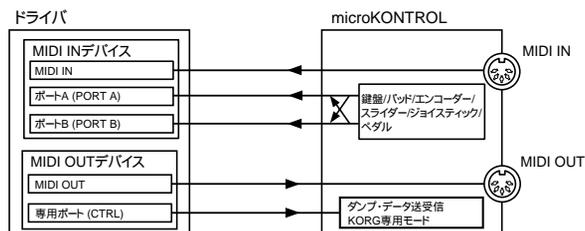
- 6 それぞれのコントローラーに対して設定し終わったら、[ENTER]キーを押します。設定が更新され、Playモードに戻ります。

note 更新した設定を残しておきたい場合は、Sceneモードで保存してください。保存しないで電源を切ったり、別のシーンを選択すると、更新した設定は消えてしまいます。
(☞p.54「Sceneモード - [16] WRITE」)

note ポートの設定は、シーンごとに保存が可能です。

microKONTROLとドライバのポートについて

microKONTROLのUSB-MIDIは、ドライバ(コンピューター)側から見ると3IN - 2OUTになります。



MIDI IN デバイス

MIDI IN

microKONTROLのMIDI IN端子に入力されたMIDIメッセージをこのポートに出力します。外部シーケンサーのMIDIメッセージをコンピューターのアプリケーションに送信したいとき等、microKONTROLをUSB-MIDIインターフェイスとして使用する場合に、アプリケーションのMIDI入力設定でこのポートを選択してください。

ポートA、ポートB

microKONTROLの各コントローラーからのMIDIメッセージが入力されます。どちらのポートに入力するかは、USB-MIDI Port settingページで設定します。鍵盤の演奏データをポートAに、コントローラーのデータをポートBに設定する等の使い分けをすると便利です。

コンピューターのアプリケーションをmicroKONTROLで操作したい場合に、アプリケーションのリモートコントロールのMIDI入力設定でいずれかのポートを選択してください。(☞p.11「アプリケーション側の入力ポートの設定」)

MIDI OUT デバイス

MIDI OUT

ソフトウェアが出力したMIDIメッセージをそのままmicroKONTROLのMIDI OUT端子へ送信します。

コンピューターのアプリケーションのMIDIメッセージを外部機器に送信したい等、microKONTROLをUSB-MIDIインターフェイスとして使用する場合に、アプリケーションのMIDI入力設定でこのポートを選択してください。

専用ポート(CTRL)

ダンプ・データの送受信とKORG専用モードで使用します。(☞p.62 資料編 - KORG専用モードについて)

microKONTROLのMIDI端子について

USB接続されていないとき

MIDI IN 端子

通常MIDIメッセージをmicroKONTROLで受信しても無効となります。KORG専用モードに入ったときは、専用のシステム・エクスクルーシブ・メッセージを受信し、動作します。

MIDI OUT 端子

microKONTROLの各コントローラーのUSB端子から送信するメッセージ(ポートA、ポートBともに)を送信します。

USB接続されているとき

MIDI IN 端子

受信した内容をそのままMIDI INへ送ります。

MIDI OUT 端子

MIDI OUTから受信した内容をそのまま送信します。microKONTROLの各コントローラーからのメッセージは送信しません。

[9] KBD VELOCITY (Keyboard Velocity setting)

Keyboard Velocity setting では、鍵盤のペロシティ・カーブを設定します。打鍵時に、ペロシティ・カーブまたは固定値に対応してペロシティ値を送信します。8種類のカーブまたはペロシティ値固定の中から選びます。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[9]を押します。
[SETTING]キーとパッド[9]が点灯し、Keyboard Velocity settingへ入ります。メイン・ディスプレイには“Velocity Type”(ペロシティ・タイプの選択)が表示されます。



- 2 ペロシティ・カーブを[VALUE]ダイヤルで選択します。カーブを選択したときは、[ENTER]キー(点滅)を押して設定を保存します。☞手順4

V-Curve1 ~ V-Curve3 (Velocity Curve1-3)

強く弾いたときに効果が得られるカーブです。V-Curve3にいくほど高いペロシティ値が得られます。

V-Curve4, V-Curve5 (Velocity Curve4, 5)

標準的なカーブです。V-Curve5の方が弱い打鍵で高いペロシティ値が得られます。

V-Curve6 (Velocity Curve6)

あまり強く弾なくても効果が得られるカーブです。

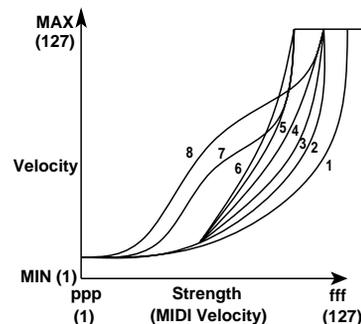
V-Curve7 (Velocity Curve7)

中打鍵時は変化が小さく、ほぼ一定の効果が得られるカーブです。

V-Curve8 (Velocity Curve8)

中打鍵時は変化が小さく、ほぼ一定の効果が得られるカーブです。(7よりもフラットになります)

note 7、8のカーブは中打鍵時の変化が小さいので、ペロシティを必要としない場合や音の強さを揃えたい場合に向いていますが、弱打鍵時の変化が大きくコントロールが難しいカーブです。選択するカーブは、自分のペロシティーの強さや得たい効果によって使い分けてください。



Constant

設定した値でペロシティ値を送信します。

- 3 “Velocity Type”でConstantを選んだときは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Cnst(Constant)”(ペロシティ値の設定)へ移動し、ペロシティ値を[VALUE]ダイヤルで設定します。設定範囲は、1 ~ 127です。



- 4 [ENTER]キーを押します。各設定が保存され、Playモードに戻ります。

[10] PAD VELOCITY (PAD Velocity setting)

PAD Velocity setting では、パッドでノート・メッセージを送信するときのベロシティ・タイプを設定します。

ベロシティ・タイプは、パッドを叩く強さによって段階的にベロシティ値を送信するか、強弱に関係なく固定値で送信するかのどちらかに設定できます。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[10]を押します。
パッド[10]と[SETTING]キーが点灯し、PAD Velocity settingに入ります。メイン・ディスプレイには「Velocity Type」(ベロシティ・タイプの選択)が表示されます。



- 2 ベロシティ・タイプを[VALUE]ダイヤルで選びます。

VelSens (Velocity Sens)

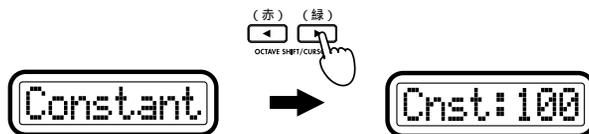
パッドを叩く強さによって段階的にベロシティ値を送信します。

VelSensを選んだときは、[ENTER]キー(点滅)を押して設定を保存します。

Constant

パッドを叩くと、設定したベロシティ値を送信します。

- 3 “Velocity Type”でConstantを選んだときは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Constant” (ベロシティ値の設定)へ移動し、ベロシティ値を[VALUE]ダイヤルで設定します。設定範囲は、1 ~ 127 です。



- 4 [ENTER]キーを押します。
各設定が保存され、Playモードに戻ります。

[11] LCD BACKLIT (LCD Backlit setting)

LCD Backlit setting では、メイン・ディスプレイ、サブ・ディスプレイのバックライトの色を設定します。

サブ・ディスプレイでは、エンコーダーとスライダの表示ごとにバックライトの色を設定できます。操作したコントローラーによってディスプレイのバックライトの色が変わります。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[11]を押します。
[SETTING]キーとパッド[11]が点灯し、LCD Backlit settingに入ります。メイン・ディスプレイには「Display Select」(設定するディスプレイの選択)が表示されます。



- 2 設定するディスプレイを[VALUE]ダイヤルで選びます。

Encd (Encoder)

サブ・ディスプレイ、エンコーダー表示時のバックライト色を設定します。

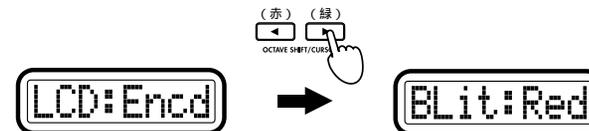
Slidr (Slider)

サブ・ディスプレイ、スライダ表示時のバックライト色を設定します。

Main

メイン・ディスプレイのバックライト色を設定します。

- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Backlit Select” (バックライト色の選択)へ移動します。



- 4 バックライトの色を[VALUE]ダイヤルで選びます。
Off : バックライト・オフ
Red: 赤
Grn: 緑
Org : オレンジ
- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR[◀]キーを押して“ Display Select ”に戻り、他のディスプレイも同様に設定します。
- 6 それぞれのディスプレイに対して設定し終わったら、[ENTER]キーを押します。各設定が保存され、Play モードに戻ります。

[12] PAD ILLUMI (PAD Illumination setting)

PAD Illumination settingでは、パッドのMIDIメッセージ送信時におけるパッドの点灯状態を設定します。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[12]を押します。
[SETTING]キーとパッド[12]が点灯し、PAD Illumination settingに入ります。メイン・ディスプレイには“ Blink ”(パッドの点灯状態について設定)が表示されます。



- 2 Playモードでパッドを押したときに、ワンショット点灯または消灯させるかどうか、または何も変化させないかを[VALUE]ダイヤルで選択します。
BlinkOff: 何も変化しません。(点灯のまま、または消灯のまま)
BlinkOn: ワンショット点灯または消灯します。
- 3 [ENTER]キーを押します。
設定が保存され、Playモードに戻ります。

[13] TRANSPOSE (Transpose setting)

Transpose settingでは、鍵盤のトランスポーズを設定します。半音単位で鍵盤のトランスポーズを設定できます。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[13]を押します。
[SETTING]キーとパッド[13]が点灯し、Transpose settingに入ります。メイン・ディスプレイには“ Transpose ”(トランスポーズの設定)が表示されます。



- 2 鍵盤のトランスポーズを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで設定します。設定範囲は、-24 ~ +24(±2オクターブ)です。(p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 3 [ENTER]キーを押します。
設定が保存され、Playモードに戻ります。

[14] GLOB.CH (Global MIDI Channel setting)

Global MIDI Channel settingでは、グローバルMIDIチャンネルを設定します。グローバルMIDIチャンネルは、鍵盤を弾いたときにノート・データを送信するMIDIチャンネルです。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[14]を押します。
[SETTING]キーとパッド[14]が点灯し、Global MIDI Channel settingに入ります。メイン・ディスプレイには「Global MIDI Channel (グローバルMIDIチャンネルの設定)」が表示されます。



- 2 グローバルMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。(※p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 3 [ENTER]キーを押します。
設定が保存され、Playモードに戻ります。

[15] POLARITY (Polarity setting)

Polarity settingでは、リア・パネルのPEDAL端子に接続するダンパー・ペダルまたはペダル・スイッチの極性を設定します。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[15]を押します。
[SETTING]キーとパッド[15]が点灯し、Polarity settingに入ります。メイン・ディスプレイには「Pedal Polarity (ペダルの極性設定)」が表示されます。



- 2 接続するペダルの極性を[VALUE]ダイヤルで選択します。
+: 接続したペダルの極性が+()の場合に設定します。
-: 接続したペダルの極性が-()の場合に設定します。コルグ ダンパー・ペダル (オプションDS-1H)やコルグ ペダル・スイッチ(オプションPS-1)を接続した場合も - に設定します。また、PEDAL端子にペダルを接続しない場合には、- に設定してください。
- 3 [ENTER]キーを押します。
設定が保存され、Playモードに戻ります。

[16] SYSTEM (System setting)

シーンを選び直したときのエンコーダーの初期値を設定します。

- 1 [SETTING]キーを押しながら、パッド[16]を押します。
[SETTING]キーとパッド[16]が点灯し、System settingに入ります。メイン・ディスプレイには「Value (初期値の設定)」が表示されます。



- 2 初期値を[VALUE]ダイヤルで選択します。
設定できる初期値は、000、064、127、Lastです。
Lastは、最後に設定したエンコーダーの値が初期値となります。
- 3 [ENTER]キーを押します。
設定が保存され、Playモードに戻ります。

Message モード

Message モードは、各種MIDIメッセージを送信するモードです。

Message モードは、16のページに分かれています。

Play モードで[MESSAG]キーを押しながら(メイン・ディスプレイに“ MesgPad?”と表示され、パッドを押すだけでメッセージを送信するパッド[1]～[8]が点灯します)、以下に示すパッドを押すことによってMIDIメッセージを送信できます。

また、[EXIT]キーを押しながら[MESSAG]キーを押すと、メイン・ディスプレイに“ MesgPad?”と表示され、メッセージ選択の待機状態になります。この状態からパッドを押すことによってメッセージを送信できます。パッド[1]～[8]を押してメッセージを送信したときは、送信後も待機状態となります(モード・ロック)。再度、パッドを押してメッセージを送信することができます。待機状態から抜けるときは[EXIT]キーを押します。パッド[9]～[16]でメッセージを設定して送信したときは、送信後Playモードに戻ります。

パッド[1]～[8]では、プリセットされているMIDIメッセージを送信します。

パッドNo.	ページ	設定内容
パッド[1]	Panic message	オール・ノート・オフ、オール・サウンド・オフ、リセット・オール・コントローラーのメッセージを送信。(※p.43)
パッド[2]	Snap message	エンコーダーとスライダの値を送信。(※p.43)
パッド[3]	All Note Off message	オール・ノート・オフを送信。(※p.44)
パッド[4]	GM On message	GMシステム・オンを送信。(※p.44)
パッド[5]	Stop message	リアルタイム・メッセージのストップを送信。(※p.44)
パッド[6]	Start message	リアルタイム・メッセージのスタートを送信。(※p.44)
パッド[7]	Continue message	リアルタイム・メッセージのコンティニューを送信。(※p.45)
パッド[8]	Tap message	テンポの調整。(※p.45)

パッド[9]～[16]では、メッセージを設定して送信します。

パッドNo.	ページ	設定内容
パッド[9]	Control Change message	コントロール・チェンジ・メッセージを送信。(※p.45)
パッド[10]	Bank Select message	バンク・セレクトを送信。(※p.46)
パッド[11]	Program Change message	プログラム・チェンジを送信。(※p.47)
パッド[12]	PitchBend Change message	ピッチベンド・メッセージを送信。(※p.47)
パッド[13]	RPN message	RPNを送信。(※p.48)
パッド[14]	NRPN message	NRPNを送信。(※p.49)
パッド[15]	System Exclusive message	任意のシステム・エクスクルーシブを送信。(※p.50)
パッド[16]	Free message	任意の3バイト以下のMIDIメッセージを送信。(※p.51)

note メッセージが送信されるポートは、SettingモードのUSB-MIDI Port settingで設定します。(※p.36「Settingモード - [8] USB-MIDI Port setting」)

OCTAVE SHIFT/CURSORキー、[ENTER]キー、[EXIT]キーについて

MIDIメッセージを設定して送信するページでは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]キーがカーソルキーとなり、パラメーターの移動に使用します。

[MESSAG]キーとパッドを押して各ページに入ると、移動できる方向のキーが緑に点灯します。キーが消灯、または赤く点灯している方向へは移動できません。また、[▶]キーを押しながら[◀]キーを押すと、ページの先頭に戻ります。

(赤) (緑)
 : 右のパラメーターへ移動可能
OCTAVE SHIFT/CURSOR

(緑) (赤)
 : 左のパラメーターへ移動可能
OCTAVE SHIFT/CURSOR

ページの最後になると、[ENTER]キーが点滅します。[ENTER]キーを押すと、設定したメッセージが送信されPlayモードに戻ります。途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押します。

[1] PANIC (Panic message)

オール・ノート・オフ [Bn, 7B, 00]、オール・サウンド・オフ [Bn, 78, 00]、リセット・オール・コントローラー [Bn, 79, 00]を全MIDIチャンネルに送信します。
 操作中に、接続したソフト・ウエアの動作が不安定なったり、MIDI音源が発音したまま止まらなくなった場合に実行します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[1]を押します。
 パッド[1]がワンショットで消灯し、オール・ノート・オフ、オール・サウンド・オフ、リセット・オール・コントローラーを全MIDIチャンネルに送信します。
 メイン・ディスプレイに“Panic!!”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

note このメッセージのみ、Settingモードの[8] PORT(USB-MIDI Port Setting)の設定にかかわらず、ポートAとポートBの両方のポートに送信します。

[2] SNAP (Snap message)

エンコーダーとスライダーの現在の値を送信します。(Snap Shot機能)エンコーダーとスライダーにアサインしたMIDIメッセージを、シーケンサー等で曲の先頭にレコーディングする場合や、DAW等に初期設定として送信する場合に有効です。

note Snap Shot機能では、8つのエンコーダーとスライダーの値を、それぞれにアサインされている内容で送信します。

- 1 Playモードでエンコーダーとスライダーを操作して、目的の設定にします。
 サブ・ディスプレイに操作時の値が表示されます。
- 2 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[2]を押します。
 パッド[2]がワンショットで消灯し、エンコーダーとスライダーの設定値を送信します。メイン・ディスプレイに“SnapShot”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

[3] NOTE OFF (All Note Off message)

オール・ノート・オフ [Bn, 7B, 00]を全MIDIチャンネルに送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[3]を押します。
パッド[3]がワンショットで消灯し、オール・ノート・オフを全MIDIチャンネルに送信します。メイン・ディスプレイに“ AllnOff ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

[4] GM ON (GM On message)

GMシステム・オン [F0, 7E, 7F, 09, 01, F7]を送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[4]を押します。
パッド[4]がワンショットで消灯し、GMシステム・オンを送信します。メイン・ディスプレイに“ GM On ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

[5] STOP (Stop message)

リアルタイム・メッセージのストップ [FC]を送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[5]を押します。
パッド[5]がワンショットで消灯し、リアルタイム・メッセージのストップを送信します。メイン・ディスプレイに“ STOP ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

[6] START (Start message)

リアルタイム・メッセージのスタート [FA]を送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[6]を押します。
パッド[6]がワンショットで消灯し、リアルタイム・メッセージのスタートを送信します。メイン・ディスプレイに“ START ”と表示されます。



[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

[7] CONTINUE (Continue message)

リアルタイム・メッセージのコンティニュー [FB]を送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[7]を押します。
パッド[7]がワンショットで消灯し、リアルタイム・メッセージのコンティニューを送信します。メイン・ディスプレイに“ CONTINUE ”と表示されます。

[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

[8] TAP (Tap message)

一定の間隔で、連続してパッドを押すことによって、シーケンサー等のテンポを調整します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、設定したいテンポに合わせてパッド[8]を2回以上押します。
パッド[8]がワンショットで消灯し、送信しているタイミング・クロックのテンポがメイン・ディスプレイに表示されます。(小数点第一位まで)

[MESSAGE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

- note** [EXIT]キーを押しながら[MESSAGE]キーを押して、モード・ロックの状態にさせると、パッド[8]のみを叩いてテンポを調整できます。

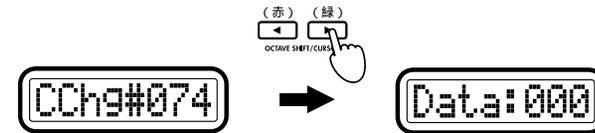
[9] CTRL (Control Change message)

任意のコントロール・チェンジ・メッセージを設定し、送信します。
一回の送信で決まった値に設定することができます。

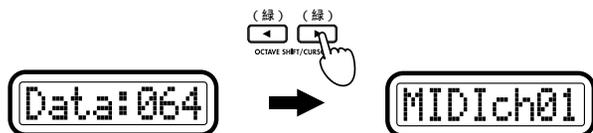
- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[9]を押します。
[MESSAGE]キーとパッド[9]が点灯し、CTRL(Control Change message)に入ります。メイン・ディスプレイには“ Message Select ”(コントロール・チェンジの選択)が表示されます。

- note** ディスプレイの表示において、選択できるパラメーターや設定値は点滅して表示します。

- 2 送信するコントロール・チェンジを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は0 ~ 127です。(esp.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Data ”(送信するメッセージの値の設定)へ移動します。



- 4 送信するメッセージの値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は0 ~ 127です。
- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 6 コントロール・チェンジを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。
- 7 [ENTER]キーを押して、メッセージを送信します。
送信が終了すると、メイン・ディスプレイに“ Trnsmit! ”と表示され、Playモードに戻ります。
[EXIT]キーを押すと、シーン・ナンバーが表示されます。

note 途中でキャンセルするとき、[EXIT]キーを押してPlayモードに戻ります。

note 2回目以降の送信では、前回設定したメッセージが表示されます。また、設定したメッセージは、電源を切るまで保持されます。

[10] BANK (Bank Select message)

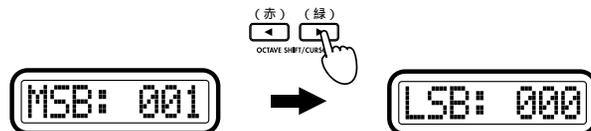
バンク・セレクト・メッセージ [Bn, 00, mm]、[Bn, 20, bb](n: チャンネル、mm: MSB、bb: LSB)を送信します。

MSBとLSBという2つの値を設定することによって、最大16384バンクを指定することができます。

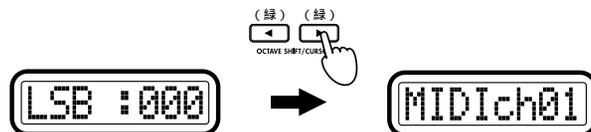
- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[10]を押します。
[MESSAGE]キーとパッド[10]が点灯し、BANK(Bank Select message)に入ります。メイン・ディスプレイには“ MSB ”(MSBの設定)を表示します。



- 2 “ MSB ”の値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。(参照p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ LSB ”(LSBの設定)へ移動します。



- 4 “ LSB ”の値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。
- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 6 バンク・セレクト・メッセージを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。
- 7 [ENTER]キーを押して、メッセージを送信します。
送信が終了すると、メイン・ディスプレイに“ Trnsmit! ”と表示され、Playモードに戻ります。
[EXIT]キーを押すと、シーン・ナンバーが表示されます。

note 2回目以降の送信では、前回設定したメッセージが表示されます。また、設定したメッセージは、電源を切るまで保持されます。

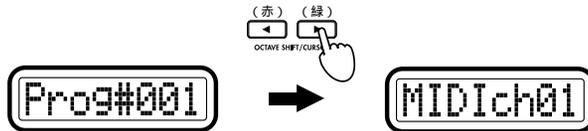
[11] PROG (Program Change message)

プログラム・チェンジ・メッセージ [Cn, mm](n: チャンネル, mm: プログラム・ナンバー) を送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[11]を押します。
[MESSAGE]キーとパッド[11]が点灯し、PROG(Program Change message) に入ります。メイン・ディスプレイには“ Prog 〇 (プログラム・ナンバーの選択) ”を表示します。



- 2 送信するプログラム・ナンバーを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。(参考p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel 〇 (MIDIチャンネルの設定) ”へ移動します。



- 4 プログラム・チェンジを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。
- 5 [ENTER]キーを押して、メッセージを送信します。
送信が終了すると、メイン・ディスプレイに“ Trnsmitt!”と表示され、Playモードに戻ります。
[EXIT]キーを押すと、シーン・ナンバーが表示されます。

note 2回目以降の送信では、前回設定したメッセージが表示されます。また、設定したメッセージは、電源を切るまで保持されます。

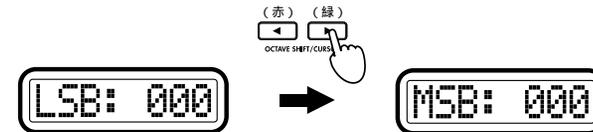
[12] BEND (PitchBend Change message)

ピッチベンド・メッセージ [En, bb, mm](n: チャンネル, bb: LSB, mm: MSB) を送信します。ピッチベンド・メッセージはLSBとMSBの値を合わせて16384段階の値で表し、8192(LSB: 000, MSB: 064)がセンター値となります。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[12]を押します。
[MESSAGE]キーとパッド[12]が点灯し、BEND(PitchBend Change message)に入ります。メイン・ディスプレイには“ LSB 〇 (LSBの設定) ”を表示します。

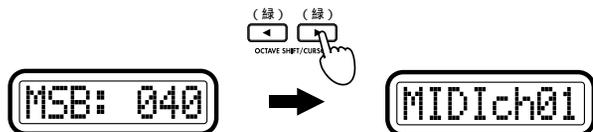


- 2 “ LSB ”の値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。(参考p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ MSB 〇 (MSBの設定) ”へ移動します。



- 4 “ MSB ”の値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 6 ピッチベンドを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。

- 7 [ENTER]キーを押して、メッセージを送信します。
送信が終了すると、メイン・ディスプレイに“ Trnsmit! ”と表示され、Playモードに戻ります。
[EXIT]キーを押すと、シーン・ナンバーが表示されます。

note 2回目以降の送信では、前回設定したメッセージが表示されます。また、設定したメッセージは、電源を切るまで保持されます。

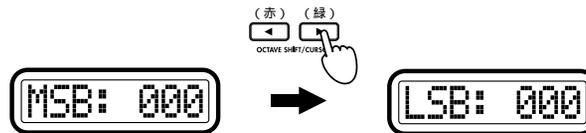
[13] RPN (RPN message)

任意のRPN(レジスタード・パラメーター・ナンバー)を送信します。
RPN(Registered Parameter No.)は、楽器メーカー等の枠を超えて共通の設定をするためのメッセージです。
CC#101とCC#100に続くMSBとLSBという2つの値でパラメーター・ナンバーを指定し、CC#6とCC#38に続くデータ・エントリー MSBとデータ・エントリー LSBでパラメーターの値を指定します。

- 1 [MESSAGE]を押しながら、パッド[13]を押します。
[MESSAGE]キーとパッド[13]が点灯し、RPN(RPN Message)に入ります。メイン・ディスプレイに“ MSB ”(CC#101に続くMSBパラメーター・ナンバーの設定)を表示します。

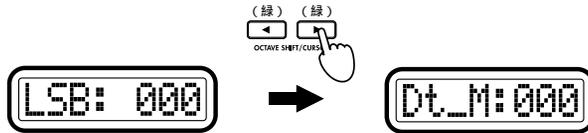


- 2 “ MSB ”の値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。(参照p.4「トリガー・パッドの機能について - 数値の入力」)
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ LSB ”(CC#100に続くLSBパラメーター・ナンバーの設定)へ移動します。



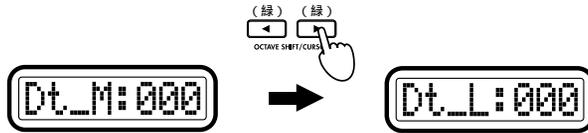
- 4 “ LSB ”の値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ Dt_M: ”(CC#6に続くデータ・エントリーMSBの設定)へ移動します。



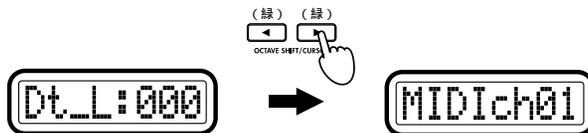
- 6 データ・エントリーMSBの値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。

- 7 OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、“ Dt_L: ”(CC#38に続くデータ・エントリーLSBの設定)へ移動します。



- 8 データ・エントリーLSBの値を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで入力します。設定範囲は0 ~ 127です。

- 9 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ MIDI Channel ”(MIDIチャンネルの設定)へ移動します。



- 10 設定したRPNを送信するMIDIチャンネルを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。設定範囲は1 ~ 16(ch)です。

- 11 [ENTER]キーを押して、メッセージを送信します。
送信が終了すると、メイン・ディスプレイに“ Trnsmit! ”と表示され、Playモードに戻ります。
[EXIT]キーを押すと、シーン・ナンバーが表示されます。

note 2回目以降の送信では、前回設定したメッセージが表示されます。また、設定したメッセージは、電源を切るまで保持されます。

[14] NRPN (NRPN message)

任意のNRPN(ノン・レジスタード・パラメーター・ナンバー)を送信します。
NRPN(Non Registered Parameter No.)は、楽器メーカー / 機種等で自由に設定できるメッセージです。
CC#99とCC#98に続くMSBとLSBという2つの値でパラメーター・ナンバーを指定し、CC#6とCC#38に続くデータ・エントリーMSBとデータ・エントリーLSBでパラメーターの値を指定します。

- 1 [MESSAGE]を押しながら、パッド[14]を押します。
[MESSAGE]キーとパッド[14]が点灯し、NRPN(NRPN message)に入ります。メイン・ディスプレイに“ MSB ”(MSBの設定)を表示します。設定の方法は、RPNの場合と同じです。設定方法は、「[13] RPN (RPN message) 」(p.48)を参照してください。

[15] EX (System Exclusive message)

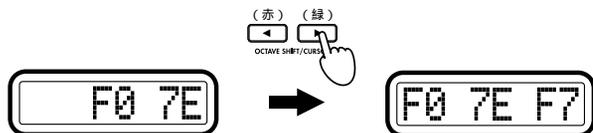
任意のシステム・エクスクルーシブ・メッセージを送信します。

ここでは、例としてGMシステム・オン [F0, 7E, 7F, 09, 01, F7]を設定し、送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[15]を押します。
[MESSAGE]キーとパッド[15]が点灯し、EX(System Exclusive message)に入ります。メイン・ディスプレイには“ System Exclusive ”(システム・エクスクルーシブの設定)を表示します。



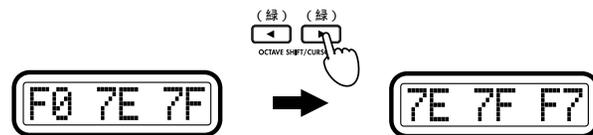
- 2 [VALUE]ダイヤルまたはパッドで7Eと入力し、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、次の入力へ移動します。



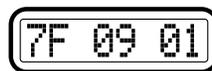
note パッドでの入力は16進入力のみとなります。このときは[HEX LOCK]キーが自動的に点灯します。

note F7(エンド・オブ・エクスクルーシブ)の表示から、入力した時点でOCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーが緑色に点灯し、移動できます。

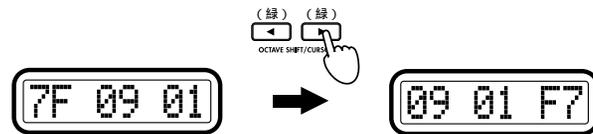
- 3 [VALUE]ダイヤルまたはパッドで7Fと入力し、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、次の入力へ移動します。
7Fを入力した時点でOCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーが緑色に点灯し、移動できます。



- 4 同じように[VALUE]ダイヤルまたはパッドと、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーで09、01と入力していきます。



- 5 01と入力した後、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、F7(エンド・オブ・エクスクルーシブ)を表示させます。



- 6 [ENTER]キーを押して、メッセージを送信します。
送信が終了すると、メイン・ディスプレイに“ Trnsmit! ”と表示され、Playモードに戻ります。
[EXIT]キーを押すと、シーン・ナンバーが表示されます。

note 送信できるデータのサイズは、最大22バイト(F0、F7 を含まず)までです。

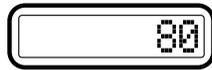
note 2回目以降の送信では、前回設定したメッセージが表示されます。また、設定したメッセージは、電源を切るまで保持されます。

[16] FREE (Free message)

任意の 3 バイト以下の MIDI メッセージを送信できます。

ここでは、例としてオール・ノート・オフ [B0, 7B, 00] を設定し送信します。

- 1 [MESSAGE]キーを押しながら、パッド[16]を押します。
[MESSAGE]キーとパッド[16]が点灯し、FREE(Free message)に入ります。
メイン・ディスプレイには「Message」(メッセージの設定)を表示します。



note 電源投入時、メッセージの初期値は 80 になります。

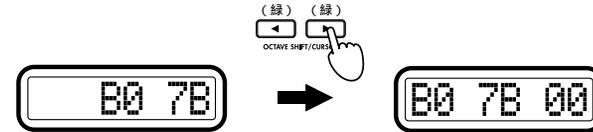
- 2 [VALUE]ダイヤルまたはパッドでB0と入力し、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、次の入力へ移動します。



note パッドでの入力は 16 進入力のみとなります。このときは[HEX LOCK]キーが自動的に点灯します。

note 最初の 1 バイト目のみ、80 ~ FF の範囲で設定できます。

- 3 [VALUE]ダイヤルまたはパッドで7Bと入力し、OCTAVE SHIFT/CURSOR[▶]キーを押して、次の入力へ移動します。



- 4 [VALUE]ダイヤルまたはパッドで00と入力します。(表示が00であれば、そのまま表示させます。)



- 5 [ENTER]キーを押して、メッセージを送信します。
送信が終了すると、メイン・ディスプレイに「Trnsmit !」と表示され、Play モードに戻ります。
[EXIT]キーを押すと、シーン・ナンバーが表示されます。

note 送信できるデータのサイズは、3 バイトまでです。また、設定したメッセージに対して、ステータス・バイトのみをチェックします。有効なメッセージかどうかのチェックはしません。

リアルタイム・メッセージ等のシングル・バイト・メッセージなどは、ステータス・バイトによって最初の 1 バイトおよび 2 バイトのみ送信します。

note 2 回目以降の送信では、前回設定したメッセージが表示されます。また、設定したメッセージは、電源を切るまで保持されます。

! システム・エクスクルーシブ・メッセージと未定義の MIDI メッセージは送信できません。メイン・ディスプレイに「BadMesg!」と表示されます。

Scene モード

Sceneモードでは、シーンの選択と保存、プリセット・シーンのロード、ダンプ・データの送受信等を行うモードです。

Sceneモードは、5つのページに分かれています。

[SCENE]キーを押して(メイン・ディスプレイに“ ScenePd? ”と表示され、シーン選択可能なパッド[1]~[12]が点灯し、現在のシーンのパッドが点滅します)、以下のパッドを押すことによってシーンを選択したり、シーンの保存等のページに移動します。また、[EXIT]キーを押しながら[SCENE]キーを押すと、メイン・ディスプレイに“ ScenePad? ”と表示され、ページ選択の待機状態になります。(モード・ロック)この状態からパッドを押すことによってページを選択できます。

パッドNo.	ページ	設定内容
パッド[1] - [12]	Select Scene	本体に保存されているシーンの選択。(※p.52)
パッド[13]	Encoder/Slider Value	エンコーダーとスライダーの値を表示。(※p.52)
パッド[14]	Dump	シーンのコンピューターへの保存、ロード。(※p.53)
パッド[15]	Preload	プリセット・シーンのロード。(※p.53)
パッド[16]	Write	シーンの本体への保存(※p.54)

OCTAVE SHIFT/CURSORキー、[ENTER]キー、[EXIT]キーについて

[15] PRELOAD ページと[16] WRITE ページでは、OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]キーがカーソル・キーとなり、パラメーターの移動に使用します。

[SCENE]キーとパッドを押してページに入ると、移動できる方向のキーが緑に点灯します。キーが消灯、または赤く点灯している方向へは移動できません。

(赤) (緑)
 : 右のパラメーターへ移動可能

(緑) (赤)
 : 左のパラメーターへ移動可能

ページの最後になると、[ENTER]キーが点滅します。[ENTER]キーを押すと、ロードまたはライトを実行し、Playモードに戻ります。途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押します。

[1]...[12] Select Scene

microKONTROL本体に保存されているシーン(各コントローラーの設定)を選択します。

- [SCENE]キーを押しながら、使用するシーン・ナンバーのパッド([1]~[12])を押します。
パッドが点滅し、メイン・ディスプレイには選択したシーン名が表示されます。



[SCENE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

note 電源投入時のシーンは、前回最後に選択したシーンになります。

! 現在選択しているシーンの設定を変更している場合、そのシーンを選び直すと変更前の設定に戻ってしまうので、注意してください。

! シーンのロードでは、microKONTROL内部の設定を変更するだけです。USB端子やMIDI端子からはMIDIメッセージは送信されません。

! シーンが切り替わる途中で、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

[13] VALUE (Encoder/Slider Value)

現在のエンコーダーとスライダーの値をサブ・ディスプレイに表示します。Messageモードのスナップ・ショット機能(※p.43「Messageモード - [2] Snap message」)を使う前に、すべてのエンコーダーとスライダーの値を確認できます。

- [SCENE]キーを押しながら、パッド[13]を押します。
キーとパッドを押している間、メイン・ディスプレイには“ VALUE ”と表示され、各サブ・ディスプレイには現在のエンコーダーとスライダーの値が表示されます。
前3桁がエンコーダー、後の3桁がスライダーの値です。
パッドまたは[SCENE]キーを離すと、Playモードに戻ります。

[14] DUMP

Dump ページでは、接続したコンピューター上のライブラリアン・ソフト等とデータのやり取りを行います。やり取りができるデータは、シーン・パラメーターとグローバル・パラメーターです。

- 1 [SCENE]キーを押しながら、パッド[14]を押します。
[SCENE]キーとパッド[14]が点灯し、Dump ページに入ります。



- 2 コンピューター上のライブラリアン・ソフト等から、MIDIデータ・ダンプまたはダンプリクエストを送信し、データのやり取りを行います。

ライブラリアン・ソフトとのデータのやり取りの方法は、[p.57「ライブラリアン・ソフトの使い方」](#)

- 3 [EXIT]キーを押して、Play モードに戻ります。

note ライブラリアン・ソフトを使用した場合は、自動的に Dump ページに移動します。

[15] PRELOAD

microKONTROL 本体にプリセットされているシーンをロードします。
プリセット・シーン 12 種類から任意のシーン・ナンバーにロードできます。

- 1 [SCENE]キーを押しながら、パッド[15]を押します。
[SCENE]キーが点灯し、Preload ページに入ります。
メイン・ディスプレイには“ Source ”(ロードするプリセット・シーンの選択)を表示し、そのパッドが点滅します。

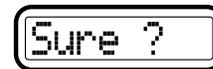


note メイン・ディスプレイでは、選択できるパラメーターや設定値を点滅して表示します。

- 2 ロードするプリセット・シーンを[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。
パッドで選ぶ場合は、ロードしたいシーンのパッドを押します。
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“ Destination ”(ロード先の選択)へ移動します。



- 4 プリセット・シーンのロード先を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。
- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押します。
メイン・ディスプレイに“ Sure ? ”(ロードの確認)を表示します。



- 6 [ENTER]キーを押して、ロードを実行します。
ロードが終了すると、メイン・ディスプレイに“ Complete ”と表示され、Playモードに戻ります。



[EXIT]キーを押すと、シーン名が表示されます。

note 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押して Play モードに戻ります。

- ⚠ ロード中には、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

[16] WRITE

各コントローラーのアサイン設定をシーンとして保存します。
 本体には12個まで保存することができます。

- 1 [SCENE]キーを押しながらパッド[16]を押します。
 [SCENE]キーが点灯し、WRITEページに入ります。メイン・ディスプレイには、現在のシーン・ナンバーが表示され、そのパッドが点滅します。



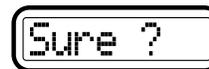
- 2 保存先を[VALUE]ダイヤルまたはパッドで選びます。
- 3 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押して、“Name”(シーン名の選択)に移動します。



- 4 [VALUE]ダイヤルで名前を選びます
 ここで設定した名前は、Playモードでメイン・ディスプレイに表示されます。
 選択できる名前は、別紙の「Scene Name」を参照してください。

- ⚠ 名前は、文字単位で設定できません。

- 5 OCTAVE SHIFT/CURSOR [▶]キーを押します。
 メイン・ディスプレイに“Sure ?”(ライトの確認)を表示します。



- 6 [ENTER]キーを押して、ライトを実行します。
 ライトが終了すると、メイン・ディスプレイに“Complete”と表示され、Playモードに戻り、保存したシーンに切り替わります。



[EXIT]キーを押すと、シーン名が表示されます。

- note** 途中でキャンセルするときは、[EXIT]キーを押します。

- ⚠ ライト中には、絶対に電源を切らないでください。内部のデータが破壊される場合があります。

資料編

使用できるMIDIメッセージ

microKONTROL では、以下のMIDIメッセージが使用できます。

チャンネル・メッセージ

メッセージ	機能
8n	ノート・オン
9n	ノート・オフ
An	ポリフォニック・キー・プレッシャー
Bn	コントロール・チェンジ / モード・メッセージ
Cn	プログラム・チェンジ(≡Messageモード - [11] PROG)
Dn	チャンネル・アフタータッチ
En	ピッチ・ベンド・チェンジ(≡Messageモード - [12] BEND)

* n: MIDIチャンネル(0 - F)

システム・リアルタイム・メッセージ

メッセージ	機能
F0	システム・エクスクルーシブ・メッセージ
F1	MIDIタイムコード
F2	ソング・ポジション・ポインター
F3	ソング・セレクト
F6	チューン・リクエスト
F7	エンド・オブ・システム・エクスクルーシブ
F8	タイミング・クロック(≡Messageモード - [8] TAP)
FA	スタート(≡Messageモード - [6] START)
FB	コンティニュー(≡Messageモード - [7] CONTINUE)
FC	ストップ(≡Messageモード - [5] STOP)
FE	アクティブ・センシング
FF	システム・リセット

MIDIコントロール・チェンジ・メッセージ

CC# (Hex)	機能
000 (00)	バンク・セレクト MSB/LSB
001 (01)	モジュレーション MSB/LSB
002 (02)	プレス・コントローラー MSB/LSB
003 (03)	未定義
004 (04)	フット・コントローラー MSB/LSB
005 (05)	ポルタメント MSB/LSB
006 (06)	データ・エントリー MSB/LSB
007 (07)	チャンネル・ボリューム MSB/LSB
008 (08)	バランス MSB/LSB
009 (09)	未定義
010 (0A)	パン MSB/LSB
011 (0B)	エクスプレッション MSB/LSB
012 (0C)	エフェクト・コントロール1 MSB/LSB
013 (0D)	エフェクト・コントロール2 MSB/LSB
016 (10)	ゼネラル・パーパス・コントローラー 1 MSB/LSB
017 (11)	ゼネラル・パーパス・コントローラー 2 MSB/LSB
018 (12)	ゼネラル・パーパス・コントローラー 3 MSB/LSB
019 (13)	ゼネラル・パーパス・コントローラー 4 MSB/LSB
020 (14)	052 (34)
⋮	⋮
031 (1F)	063 (3F)
	未定義
064 (40)	ホールド1(ダンパー、サステイン)
065 (41)	ポルタメント・スイッチ(オン / オフ)
066 (42)	ソステヌート
067 (43)	ソフト・ペダル
068 (44)	レガート・フット・スイッチ
069 (45)	ホールド2
070 (46)	サウンド・コントローラー 1(サウンド・パリエーション)
071 (47)	サウンド・コントローラー 2(レゾナンス)
072 (48)	サウンド・コントローラー 3(リリース・タイム)
073 (49)	サウンド・コントローラー 4(アタック・タイム)
074 (4A)	サウンド・コントローラー 5(ブライトネス)
075 (4B)	サウンド・コントローラー 6(ディケイ・タイム)
076 (4C)	サウンド・コントローラー 7(ビブラート・レート)
077 (4D)	サウンド・コントローラー 8(ビブラート・デプス)
078 (4E)	サウンド・コントローラー 9(ビブラート・ディレイ)
079 (4F)	サウンド・コントローラー 10
080 (50)	ゼネラル・パーパス・コントローラー 5
081 (51)	ゼネラル・パーパス・コントローラー 6

資料編 - 使用できるMIDIメッセージ

CC# (Hex)	機能
082 (52)	ゼネラル・バypass・コントローラー 7
083 (53)	ゼネラル・バypass・コントローラー 8
084 (54)	ポルタメント・コントロール
085 (55) : 090 (5A)	未定義
091 (5B)	エフェクト・デブス(リバープ・センド・レベル)
092 (5C)	エフェクト・デブス(トレモロ・デブス)
093 (5D)	エフェクト・デブス(コーラス・センド・レベル)
094 (5E)	エフェクト・デブス(セレステ・デブス)
095 (5F)	エフェクト・デブス(フェイザー・デブス)
096 (60)	データ・インクリメント
097 (61)	データ・デクリメント
098 (62)	099 (63) NRPN LSB/MSB
100 (64)	101 (65) RPN LSB/MSB
102 (65) : 191 (77)	未定義

チャンネル・モード・メッセージ

CC# MSB/LSB (Hex)	機能
120 (78)	オール・サウンド・オフ
121 (79)	リセット・オール・コントローラー
122 (7A)	ローカル・コントロール
123 (7B)	オール・ノート・オフ
124 (7C)	オムニ・オフ
125 (7D)	オムニ・オン
126 (7E)	モノ・オン(ポリ・オフ)
127 (7F)	ポリ・オン(モノ・オフ)

RPN MSB/LSB

MIDIメッセージ	MSB (Hex)	LSB (Hex)
RPNファインチューン	00 (00)	01 (01)
RPNコースチューン	00 (00)	02 (02)
RPNピッチベンド・レンジ	00 (00)	00 (00)

ノートNo.

Note	No. (Hex)						
C-1	0 (00)	C2	36 (24)	C5	72 (48)	C8	108 (6C)
C#-1	1 (01)	C#2	37 (25)	C#5	73 (49)	C#8	109 (6D)
D-1	2 (02)	D2	38 (26)	D5	74 (4A)	D8	110 (6E)
D#-1	3 (03)	D#2	39 (27)	D#5	75 (4B)	D#8	111 (6F)
E-1	4 (04)	E2	40 (28)	E5	76 (4C)	E8	112 (70)
F-1	5 (05)	F2	41 (29)	F5	77 (4D)	F8	113 (71)
F#-1	6 (06)	F#2	42 (2A)	F#5	78 (4E)	F#8	114 (72)
G-1	7 (07)	G2	43 (2B)	G5	79 (4F)	G8	115 (73)
G#-1	8 (08)	G#2	44 (2C)	G#5	80 (50)	G#8	116 (74)
A-1	9 (09)	A2	45 (2D)	A5	81 (51)	A8	117 (75)
A#-1	10 (0A)	A#2	46 (2E)	A#5	82 (52)	A#8	118 (76)
B-1	11 (0B)	B2	47 (2F)	B5	83 (53)	B8	119 (77)
C0	12 (0C)	C3	48 (30)	C6	84 (54)	C9	120 (78)
C#0	13 (0D)	C#3	49 (31)	C#6	85 (55)	C#9	121 (79)
D0	14 (0E)	D3	50 (32)	D6	86 (56)	D9	122 (7A)
D#0	15 (0F)	D#3	51 (33)	D#6	87 (57)	D#9	123 (7B)
E0	16 (10)	E3	52 (34)	E6	88 (58)	E9	124 (7C)
F0	17 (11)	F3	53 (35)	F6	89 (59)	F9	125 (7D)
F#0	18 (12)	F#3	54 (36)	F#6	90 (5A)	F#9	126 (7E)
G0	19 (13)	G3	55 (37)	G6	91 (5B)	G9	127 (7F)
G#0	20 (14)	G#3	56 (38)	G#6	92 (5C)		
A0	21 (15)	A3	57 (39)	A6	93 (5D)		
A#0	22 (16)	A#3	58 (3A)	A#6	94 (5E)		
B0	23 (17)	B3	59 (3B)	B6	95 (5F)		
C1	24 (18)	C4	60 (3C)	C7	96 (60)		
C#1	25 (19)	C#4	61 (3D)	C#7	97 (61)		
D1	26 (1A)	D4	62 (3E)	D7	98 (62)		
D#1	27 (1B)	D#4	63 (3F)	D#7	99 (63)		
E1	28 (1C)	E4	64 (40)	E7	100 (64)		
F1	29 (1D)	F4	65 (41)	F7	101 (65)		
F#1	30 (1E)	F#4	66 (42)	F#7	102 (66)		
G1	31 (1F)	G4	67 (43)	G7	103 (67)		
G#1	32 (20)	G#4	68 (44)	G#7	104 (68)		
A1	33 (21)	A4	69 (45)	A7	105 (69)		
A#1	34 (22)	A#4	70 (46)	A#7	106 (6A)		
B1	35 (23)	B4	71 (47)	B7	107 (6B)		

ライブラリアン・ソフトの使い方

ライブラリアン・ソフトを使って microKONTROL に保存されている 12 個のシーンセット(シーン・セット)としてコンピュータに保存、管理することができます。

📌 説明で使用される画面は、Mac OS X での画面です。

各部の名称と機能

The screenshot shows the microKONTROL Librarian software interface. On the left is a folder tree showing the file structure. In the center is a 4x4 grid of buttons for different sound sources. On the right is a parameter viewer window showing a list of devices and their assigned channels. At the bottom are four control buttons: Receive, Transmit, Open, and Save.

フォルダ・ツリー
コンピュータのハードディスクの階層を表示します。

シーン・パッド・ディスプレイ
シーン・セットを表示、編集します。

“Parameter Viewer” ボタン
パラメーター・ビューアの表示 / 非表示を切り替えます。

パラメーター・ビューア
シーン・パッド・ディスプレイで選択しているシーン・データのアサイン設定が表示されます。

Device	Value
Scene #01	KORG
▼ Encoder	PORT B
Enc 1	Ch01 : CC#10 (Pan)
Enc 2	Ch02 : CC#10 (Pan)
Enc 3	Ch03 : CC#10 (Pan)
Enc 4	Ch04 : CC#10 (Pan)
Enc 5	Ch05 : CC#10 (Pan)
Enc 6	Ch06 : CC#10 (Pan)
Enc 7	Ch07 : CC#10 (Pan)
Enc 8	Ch08 : CC#10 (Pan)
▼ Slider	PORT B
Sld 1	Ch01 : CC#7 (Level)
Sld 2	Ch02 : CC#7 (Level)
Sld 3	Ch03 : CC#7 (Level)
Sld 4	Ch04 : CC#7 (Level)

“Receive” ボタン
microKONTROL からシーン・セットを受信します。

“Transmit” ボタン
シーン・セットを microKONTROL に送信します。

“Open” ボタン
コンピュータに保存してあるシーン・セットを読み込みます。読み込んだシーン・セットはシーン・パッド・ディスプレイに表示されます。

“Save” ボタン
シーン・セットを、名前を付けて保存します。

シーンのコンピューターへの保存

microKONTROL側の12個のシーンをシーン・セットとしてコンピューターへ保存します。

▲ データの送受信中には、microKONTROLを操作しないでください。また、データの送受信中にエラー・メッセージが表示された場合には、MIDIドライバとの接続状態を確認してください。

- 1 ライブラリアン・ソフトを起動します。
- 2 “シーン・パッド・ディスプレイ”の左下にある“Receive”ボタンを押します。microKONTROLは自動的にSceneモードのDumpページに入り、ライブラリアン・ソフトへデータを送信します。ライブラリアン・ソフトの受信が完了すると、ダイアログが表示されるので“OK”ボタンを押します。



受信したデータが“シーン・パッド・ディスプレイ”に表示されます。“Parameter Viewer”ボタンを押してパラメーター・ビューアを表示させると、各コントローラーのアサイン設定を確認できます。

note シーン・パッドの上にあるシーン名をダブルクリックすると、シーン名の変更ができます。

- 3 “Save”ボタンを押します。“Save Scene Set”ダイアログが表示されます。
- 4 ファイル名を付け、保存場所を指定してから“Save”ボタンを押します。指定した保存場所にファイルが保存されます。

保存できるデータについて

ライブラリアン・ソフトとmicroKONTROLでやり取りできるデータは、以下のデータです。

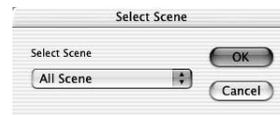
シーン・セット	12個のシーン・データがまとまったファイルです。ファイル名には拡張子“.mks”が付きます。
シーン・データ	1シーンのデータです。ファイル名には拡張子“.mkd”が付きます。
グローバル・データ	グローバル・データです。ファイル名には拡張子“.mkg”が付きます。

▲ microKONTROLとやり取りできるシーンは、シーン・セット単位です。

シーンのmicroKONTROLへのロード

コンピューターに保存してあるシーン・セットをmicroKONTROLへロードします。

- 1 “フォルダ・ツリー”でロードするシーン・セット・ファイル(拡張子が“.mks”)を選び、“シーン・パッド・ディスプレイ”にドラッグします。“Select Scene”ダイアログが表示された場合は、All Sceneを選んで“OK”ボタンを押します。



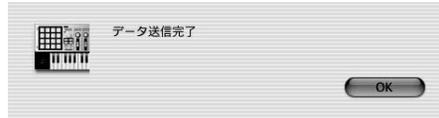
note シーン・パッドの上にあるシーン名をフォルダ・ツリーにドラッグすると、シーン・データの保存ができます。保存したシーン・データは、フォルダ・ツリーからシーン・パッドにドラッグすることで、読み込むことができます。また、シーン名を別のシーン・パッドにドラッグすると、シーンの入れ替えができます。

- 2 “Transmit”ボタンを押します。microKONTROL本体のデータを書き換えるかどうかのダイアログが表示されるので、OKボタンを押します。



microKONTROLにライブラリアン・ソフトのシーン・セットがロードされます。

- 3 送信が終了すると、ライブラリアン・ソフトでダイアログが表示されるので「OK」ボタンを押します。



microKONTROLでは、シーンの受信が終了するとメイン・ディスプレイに“Complete”と表示されます。

メニュー一覧

File

New(新規作成)

新しいシーン・セットを作成します。

Open Scene Set...(シーン・セットを読み込み)

シーン・セット・ファイルに保存されているシーン・セットを読み込みます。

Open Recent(最近開いたファイル)

最近開いたシーン・セット・ファイルの一覧です。

Save Scene Set(シーン・セットを保存)

現在編集中のシーン・セットをシーン・セット・ファイルに上書き保存します。

Save Scene Set As...(シーン・セットを名前を付けて保存)

(現在)編集中のシーン・セットに名前を付けてシーン・セット・ファイルとして保存します。

Load Scene Data...(シーン・データを読み込み)

(現在)選択されているシーンにシーン・データ・ファイルを読み込みます。

Save Scene Data...(シーン・データを保存)

(現在)選択されているシーンをシーン・データ・ファイルとして保存します。

Output Parameter...(アサイン設定をPDF出力)[Mac]

選択されているシーンのアサイン設定をPDF形式で出力します。

Edit

Undo(取り消し)

シーンデータ読み込み、シーン入れ替え等の直前の操作を取り消します。

Redo(やり直し)

取り消した動作をやり直します。

Cut(カット)

選択されているシーンのアサイン設定を削除します。

Copy(コピー)

(現在)選択されているシーンのアサイン設定をコピーします。

Paste(ペースト)

コピーされた内容を選択されているシーンに貼り付けます。

Clear(消去)

選択されたシーンのアサイン設定をクリアします。

Exchange(入れ替え)

選択されているシーンを、指定したシーンと入れ替えます。

Rename(シーン名を変更)

選択されているシーンの名前を変更します。

View

Tool Bar [Win]

ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。

表示中の場合は、項目の左にチェックが入ります。

Status Bar [Win]

ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。

表示中の場合は、項目の左にチェックが入ります。

Parameter Viewer(パラメーター・ビューアを表示)

パラメーター・ビューアの表示 / 非表示を切り替えます。

表示中の場合は、項目の左にチェックが入ります。

Refresh Folder Tree(最新の情報に更新)

フォルダ・ツリーの内容を最新の情報に更新します。

MIDI

Receive Scene Set(シーン・セットを受信)

microKONTROLからシーン・セットを読み込みます。

Transmit Scene Set(シーン・セットを送信)

(現在)編集中のシーン・セットをmicroKONTROLに書き込みます。

Receive Global Data...(グローバル・データの受信)

microKONTROLからグローバル・データを読み込み、グローバル・データファイルに保存します。

Transmit Global Data...(グローバル・データの送信)

グローバル・データ・ファイルからグローバル・データを読み込み、microKONTROLに書き込みます。

Preview Scene Data(シーン・データのプレビュー)

選択されたシーンのアサイン設定をmicroKONTROLに送信します。この操作では書き込みは行われません。[Shift]キー(Win)/[Option]キー(Mac)を押しながら、プレビューしたいシーン・パッドを押すことによって実行できます。

Set MIDI Port... [Win]

MIDIポートの設定画面を開きます。

Window [Mac]

Minimize Window(最小化)

ウィンドウを最小化します。

Bring All to Front(全てを手前に移動)

ウィンドウを前面に表示します。

About [Win]

バージョン情報を表示します。

note [Mac]: Macintoshのみのメニュー

[Win]: Windowsのみのメニュー

主なショートカット・キー

New(新規作成).....	Command + N
Open Scene Set...(シーン・セットを読み込み).....	Command + O
Save Scene Set(シーン・セットを保存).....	Command + S
Save Scene Set As...(シーン・セットに名前を付けて保存)....	Shift + Command + S
*Output Parameter(アサイン設定をPDF出力).....	Command + D
Undo(取り消し).....	Command + Z
Redo(やり直し).....	Shift + Command + Z
Cut(カット).....	Command + X
Copy(コピー).....	Command + C
Paste(ペースト).....	Command + V
Refresh Folder Tree(最新情報に更新).....	Command + F
Parameter Viewer(パラメータ・ビューアを表示/非表示).....	Command + B
Receive Scene Set(シーン・セットを受信).....	Command + R
Transmit Scene Set(シーン・セットを送信).....	Command + T
Preview Scene Data(シーン・データのプレビュー).....	Command + P
*Minimize Window(最小化).....	Command + M
*Quit microKONTROL(microKONTROLを終了).....	Command + Q

note Windowsでは[Command]キーの代わりに[Ctrl]キーを使います。また、*印のあるものはWindowsにはありません。

MIDIインプリメンテーション

システム・エクスクルーシブ・メッセージ

microKONTROLのフォーマット

F0: エクスクルーシブ・ステータス
 42: コルグID
 4n: [n=0 ~ F]グローバルMIDIチャンネル1 ~ 16
 6E: 機種ID
 00: microKONTROLのサブID
 ff: ファンクションID(メッセージの種類)
 ~
 F7: エンド・オブ・エクスクルーシブ

シーンを切り替える

microKONTROLが[F0, 42, 4n, 6E, 00, 1F, 14, ss, F7](ss=00:Scene Number1 ~ 0B:Scene Number12)のメッセージを受信すると、指定されたシーンに切り替わります。シーンが切り替わったときにmicroKONTROLからは、[F0, 42, 4n, 6E, 00, 5F, 4F, ss, F7]が送信されます。

シーンやグローバル設定データを送る(データ・ダンプ)

シーン・パラメーターとグローバル・パラメーターは、MIDIエクスクルーシブ・データとして送信することができます。MIDIエクスクルーシブ・データをコンピューターや外部MIDI機器に送信することを、データ・ダンプといいます。ライブラリアン・ソフト等により、リクエストを受けた場合、メッセージに応じてデータ・ダンプを行います。ダンプデータの詳細は、microKONTROL MIDIインプリメンテーションに記載していません。

note MIDI Exclusive Format情報を含む「MIDI Implementation」は、付属CD-ROMに収録されています。

最新のものについては、コルグお客様相談窓口へお問い合わせください。

KORG 専用モードについて

microKONTROLには、これまで説明した汎用コントローラーとしての機能以外に専用モードというものが存在します。

この専用モードでは、microKONTROLを専用モード対応のソフトウェアのコントローラーとして使用することができます。

 Settingモードでの設定は無効になります。設定を残しておきたい場合は、専用モードに入る前に保存してください。

note Play、Setting、Message、Sceneといったモードの概念はなくなります。

note 専用モードでは、MIDI端子での送受信にも対応しています。

note 専用モードでは、USBポートの設定も変わります。

専用モードでの操作

1 接続している専用モード対応ソフトウェアで設定を行って専用モードに入ってください。

ディスプレイに専用モードに入ったことを知らせるメッセージが表示されます。

2 通常モードと同様に、各コントローラーを操作します。
OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]以外の各キーの機能や各コントローラーのアサインは、コンピューター上のソフトウェアでの設定が有効になります。OCTAVE SHIFT/CURSOR [◀]/[▶]キーは、オクターブ・シフト・キーとして機能し、専用モードに入るとオクターブの設定はリセットされます。

また、専用モード時USBポートでは、以下のメッセージを送信します。

ポートA: 各キー、各コントローラーに関する独自のメッセージ

ポートB: ノート・メッセージとピッチベンド・メッセージ

3 専用モードから抜けるために、接続している専用モード対応ソフトウェアの設定を行うか、microKONTROLの[SETTING]キー、[MESSAGE]キー、[SCENE]キーを押しながら[EXIT]キーを押します。
microKONTROLがPlayモードに戻ります。

note 通常は、接続しているソフトウェアのメニューで専用モードから抜けれます。ケーブルが抜けてしまいソフトウェアのメニューから専用モードを抜けられなくなってしまったときなどに、本体のキーを押して専用モードから抜けてください。

note 専用モードへの入り方、抜け方と専用モードに入ったときにメイン・ディスプレイに表示されるメッセージや専用モードでの詳しい操作に関しては、専用モード対応のソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

故障とお思いになる前に

電源が入らない

- 電源スイッチが正しい位置に設定されていますか? (※p.12)
- microKONTROLとコンピューターをハブを経由して接続していませんか?
“LowPower”と表示された場合は、ACアダプターまたはセルフ・パワーのハブを使用してください。

ドライバがインストールできない

- CD-ROMがCDドライブに正しく入っていますか?
CD-ROMが正しく入っていることを確認してください。
- CDドライブのレンズが汚れていませんか?
市販のレンズ・クリーナーでクリーニングしてください。
- ネットワークのCDドライブからインストールをしていませんか?
ネットワークで接続されているCDドライブからはインストールできません。

ソフトウェアが反応しない

- USBケーブルが正しく接続されていますか?
- 接続したコンピューターにmicroKONTROLは認識されていますか?
Windows XPの場合は、コントロール パネルの「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」、ハードウェアで確認してください。
Mac OS Xの場合は、Macintosh HD アプリケーション・フォルダ ユーティリティ・フォルダ “Audio MIDI設定”の“MIDI装置”タブ・ページでmicroKONTROLが認識されているかを確認してください。

 ご使用になるコンピューターのハードウェア環境によっては、USB接続で本機を認識できないことがあります。

- microKONTROLのアサイン設定とUSB-MIDIポートの設定を確認してください。
- KORG専用モードに入っていませんか?
専用モードから抜けてください。(※p.62)

- モード・ロックの状態になっていませんか?
[EXIT]キーを押して、Playモードに戻ってください。
- 接続している機器やソフトウェアが、その機能に対応していない場合があります。接続している機器またはソフトウェアの取扱説明書を参照し、確認してください。

接続した外部機器やソフトウェアが同期しない

- microKONTROLのMIDIクロックのテンポ設定がClock Offになっていませんか?
- 接続している機器またはソフトウェア側の設定を確認してください。

MIDI端子からメッセージが送信されない

- USB端子にケーブルを接続していませんか?
microKONTROLのUSB端子にケーブルを接続している場合、MIDI端子からはMIDIメッセージが送信されません。

鍵盤、パッドのペロシティが効かない

- ジョイスティックに鍵盤またはパッドのペロシティがアサインされている場合、ジョイスティックの値が0以外の時は、鍵盤またはパッドでのペロシティは無効になります。
- ペロシティの設定を確認してください。(鍵盤: ※p.38 「[9] Keyboard Velocity setting」、パッド: ※p.39 「[10] PAD Velocity setting」)

ジョイスティックにポリフォニック・キー・プレッシャーをアサインして複数の鍵盤を弾いたとき、アフタータッチの効かない鍵盤がある

- 複数押された鍵盤のうち、最後に押された鍵盤のノートに対してのみアフタータッチが効きます。

発音が止まらない

- パッドにノート・メッセージがアサインされていて、パッド動作がトグル(Toggle)に設定されている場合、状況によっては対応したノート・オフ・メッセージが送信されないことがあります。このようなときはMessageモードの[3] All Note Off(※p.44)か[1] Panic(※p.43)を実行してください。

主な仕様

コントローラー

- ・キーボード: 37 鍵ペロシティ対応ミニ・キーボード
- ・ロータリー・エンコーダー×8
- ・スライダ×8
- ・パッド×16: ペロシティ対応
- ・ジョイスティック: スイッチ付き 4-Way
- ・[VALUE]ダイヤル

ディスプレイ

- ・メイン・ディスプレイ: 8 文字(8 × 5ドット)3 色バックライト付LCD モジュール
- ・サブ・ディスプレイ×8: 8 文字(8 × 5ドット)3 色バックライト付LCD モジュール
- ・テンボLED

メモリー

- ・ユーザー・メモリー: 12
- ・グローバル・メモリー: 1

接続端子

- ・ペダル端子
- ・MIDI IN/OUT 端子
- ・USB 端子
- ・電源端子(DC9V)

電源

- ・DC9V、ACアダプター
- ・USB バス電源方式(USB 端子使用時)
- ・単 3 乾電池 6 個

消費電流

- ・USB バス電源使用時: 約 350mA(最大 450mA)
- ・AC アダプター使用時: 約 450mA(最大 500mA)
- ・電池寿命: 約 6 時間(単三アルカリ乾電池 6 本使用時)

外形寸法(W × D × H)

- ・ 521mm × 231mm × 67mm

本体重量

- ・ 2.5kg

付属品

- ・ AC アダプター
- ・ USB ケーブル
- ・ CD-ROM(microKONTROLライブラリアン・ソフトウェア、シーン・テンプレート、ドライバ収録)
- ・ トリガー・パッド用ネーム・シート&シール
- ・ 取扱説明書
- ・ MIDI インプリメンテーション・チャート / Name List
- ・ ソフトウェア使用許諾契約

コンピューターに接続する場合の動作環境

- ・ **Macintosh**
 - ・ 対応 OS: Mac OS X 10.2 以降
 - ・ 対応コンピューター: Mac OS X の動作環境を満たす USB ポート搭載の Apple Macintosh
- ・ **Windows**
 - ・ 対応 OS: Microsoft Windows XP Home Edition/Professional
 - ・ 対応コンピューター: Windows XP の動作環境を満たす USB ポート搭載のコンピューター(USB chipset は Intel 社製を推奨)

オプション

- ・ ダンパー・ペダル DS-1H
- ・ ペダル・スイッチ PS-1

製品の外観および仕様は予告なく変更することがあります。(2003 年 8 月現在)

索引

記号

10進数入力 4

16進数入力 4

A

ACアダプター 1, 5, 12, 13

AfterTouch 32

All Note Off message 44

B

Bank Select message 46

C

Control Change message 45

D

DUMP 53

E

Encoder assignment 25

Encoder/Slider Value 52

[ENTER]キー 3, 24, 42, 52

[EXIT]キー 3, 24, 42, 52

F

Free message 51

G

Global MIDI Channel setting 41

GM On message 44

GMシステム・オン 44

H

[HEX LOCK]キー 3

J

Joystick switch assignment 35

Joystick - X assignment 31

Joystick - Y assignment 35

K

Keyboard Velocity setting 38

KORG専用モード 62

L

LCD Backlit setting 39

M

[MESSAGE]キー 3

Messageモード 42

MIDIインプリメンテーション 61

MIDI端子 5

N

NRPN 26, 49

O

“Open”ボタン 57

OCTAVE SHIFT/CURSORキー ... 2, 24, 42, 52

P

“Parameter Viewer”ボタン 57

PAD assignment 28

PAD Illumination setting 40

PAD Velocity setting 39

Panic message 43

Pedal assignment 29

PEDAL端子 5

PitchBend Change message 47

Playモード 19

Polarity setting 41

PRELOAD 53
 Program Change message 47

R

“ Receive ”ボタン 57
 RPN 26, 48
 RPN MSB/LSB 56

S

“ Save ”ボタン 57
 [SCENE]キー 3
 Scene モード 52
 Select Scene 52
 [SETTING]キー 3
 Setting モード 24
 Slider assignment 27
 Snap message 43
 Snap Shot 機能 43
 Start message 44
 Stop message 44
 System Exclusive message 50
 System setting 41

T

“ Transmit ”ボタン 57
 Tap message 45
 TEMPO LED 2
 Transpose setting 40

U

USB-MIDI Port setting 36
 USB-MIDI送信ポート 36
 USB 端子 5

V

[VALUE]ダイヤル 2, 23

W

Windows XP 6
 KORG USB-MIDI Driverのアンインストール 9
 KORG USB-MIDI Driverのインストール 6
 WRITE 54

ア

アサイン
 エンコーダー 25
 NRPN, RPN 26
 ジョイスティック
 -X/+X方向 34

± X方向 31
 アフタータッチ 32
 コントロール・チェンジ 33
 ジョイスティック・スイッチ 35
 ピッチベンド 32
 ベロシティ 32, 33
 マスター・バランス 32
 スライダー 27
 パッド 33
 ペダル 29
 コントロール・チェンジ 30
 ソステヌート 30
 ソフトペダル 30
 ダンパー 29
 ポルタメント 30

アフタータッチ 32

エ

エンコーダー 19

オ

オール・サウンド・オフ 43
 オール・ノート・オフ 43, 44

キ

極性 41

ク

クイック・アサイン 17

グローバルMIDIチャンネル	41
グローバル・データ	58
グローバル・パラメーター	14, 24
ケ	
鍵盤	22
コ	
コンティニュー	45
[コントラスト調整]ノブ	5
コントロール・チェンジ・メッセージ	45, 55
サ	
サブ・ディスプレイ	3
シ	
シーン・セット	18, 58
シーン・データ	58
シーンの選択	15, 52
シーンの保存	17, 54
シーン・パッド・ディスプレイ	57
シーン・パラメーター	14, 24
システム・エクスクルーシブ・メッセージ	50, 61
システム・リアルタイム・メッセージ	55
ジョイスティック	3, 21

ス

スタート	44
ストップ	44
スナップ・ショット機能	52
スライダー	19

セ

接続	
MIDI	12
USB	13

ソ

ソステヌート	30
ソフト・ペダル	30

タ

ダンパー	29
------------	----

チ

チャンネル・アフタータッチ	33
チャンネル・メッセージ	55
チャンネル・モード・メッセージ	56

テ

デジタル署名の認証	10
-----------------	----

電源スイッチ	5
電源端子	5
電池	12
テンポ	45

ト

ドライバ	
Mac OS X	11
Windows XP	6
ポート	37
トランスポート	40
トリガー・パッド	3, 4, 20

ノ

ノートNo.	56
ノン・レジスタード・パラメーター・ナンバー	49

ハ

バックライト	39
バッテリー・エンプティ表示	12
パラメーター・ビューア	57
バンク・セレクト・メッセージ	46

ヒ

ピッチバンド	32
--------------	----

ピッチベンド・メッセージ 47

フ

フォルダ・ツリー 57

プリセット・シーン 53

プログラム・チェンジ・メッセージ 47

へ

ペダル 22

ペロシティ 32

 鍵盤 38

 パッド 39

ペロシティ・カーブ 38

ホ

ポート 36, 37

保存 54

 コンピューター 58

ポリフォニック・キー・プレッシャー 33

ポルタメント 30

マ

マスター・バランス 32

メ

メイン・ディスプレイ 2

ラ

ライブラリアン・ソフト 18, 57

リ

リア・パネル 5

リアルタイム・メッセージ

 コンティニュー 45

 スタート 44

 ストップ 44

リセット・オール・コントローラー 43

レ

レジスタード・パラメーター・ナンバー 48

ロ

ロード

 コンピューター 58

 プリセット 53

アフターサービス

保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品(電子回路などのように機能維持のために必要な部品)の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品(パネルなど)の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめサービス・センターへお問い合わせください。

修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときは、サービス・センターへお問い合わせください。

修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 03(3799)9086

サービス・センター 〒 143-0001 東京都大田区東海5-4-1

明正大井5号営業所 コルグ物流センター内 TEL 03(3799)9085

KORG 株式会社コルグ

本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

URL: <http://www.korg.co.jp/>